

## 1 大気汚染常時監視結果

## (1) 調査結果一覧表

ア 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

局種別	区	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価			1時間値の最高値	令和5年度の年平均値
						1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		環境基準の達成状況	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況		
						(時間)	(%)	(日)	(%)						
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	289	6934	0.001	0	0	0	0	○	0.001	無	○	0.010	(0.000)
	北区	城北つばさ高校	364	8671	0.000	0	0	0	0	○	0.001	無	○	0.009	0.000
	中川区	八幡中学校	363	8654	0.001	0	0	0	0	○	0.002	無	○	0.007	0.001
	南区	白水小学校	364	8650	0.001	0	0	0	0	○	0.002	無	○	0.020	0.001
	一般局平均		---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
自排局	中区	若宮大通公園	363	8643	0.001	0	0	0	0	○	0.002	無	○	0.008	0.001
	自排局平均		---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
全測定局平均			---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001

注 令和5年度の国設名古屋大気環境測定所については、年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局ではないため（ ）としている。また、一般局平均及び全測定局平均の対象としていない。

イ 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

局種別	区	測定局	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )											一酸化窒素 (NO)				窒素酸化物 (NO+NO <sub>2</sub> )					
			有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	長期的評価		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		令和5年度の年平均値	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	令和5年度の年平均値	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	NO <sub>2</sub> (NO+NO <sub>2</sub> ) (年平均値)	令和5年度の年平均値	
							日平均値の年間98%値	達成状況															
								環境基準	環境目標値	(日)	(%)	(日)											(%)
(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(達成○・非達成×)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(%)	(ppm)				
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	348	8320	0.007	0.044	0.017	○	○	0	0	0	0	0.008	0.001	0.036	0.004	0.001	0.008	0.067	0.021	89.8	0.009
	北区	城北つばさ高校	363	8652	0.009	0.061	0.024	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.087	0.009	0.003	0.012	0.120	0.031	81.0	0.013
	中村区	名楽町	363	8653	0.009	0.053	0.024	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.054	0.007	0.002	0.011	0.090	0.031	85.2	0.013
	昭和区	滝川小学校	363	8654	0.008	0.057	0.020	○	○	0	0	0	0	0.009	0.001	0.094	0.006	0.001	0.009	0.126	0.024	88.7	0.011
	中川区	八幡中学校	362	8646	0.010	0.056	0.024	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.099	0.008	0.002	0.012	0.128	0.033	85.2	0.013
	中川区	富田支所	363	8646	0.009	0.057	0.021	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.068	0.008	0.002	0.011	0.099	0.030	85.1	0.012
	港区	惟信高校	363	8652	0.010	0.070	0.023	○	○	0	0	0	0	0.010	0.001	0.064	0.005	0.002	0.011	0.097	0.029	87.5	0.012
	南区	白水小学校	363	8649	0.012	0.068	0.026	○	○	0	0	1	0.3	0.013	0.003	0.102	0.010	0.003	0.015	0.135	0.035	82.8	0.016
	守山区	守山保健センター	363	8651	0.008	0.047	0.020	○	○	0	0	0	0	0.009	0.001	0.047	0.006	0.001	0.009	0.084	0.025	87.6	0.010
	緑区	大高北小学校	363	8640	0.010	0.063	0.021	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.064	0.007	0.002	0.011	0.098	0.027	86.2	0.012
	天白区	天白保健センター	363	8651	0.008	0.053	0.020	○	○	0	0	0	0	0.009	0.001	0.039	0.006	0.001	0.009	0.071	0.025	90.6	0.010
		一般局平均		—	—	0.009	—	—	—	—	—	—	—	0.010	0.002	—	—	0.002	0.011	—	—	—	—
自排局	北区	上下水道局北営業所	363	8652	0.012	0.062	0.026	○	○	0	0	0	0	0.013	0.003	0.070	0.011	0.004	0.015	0.108	0.034	78.4	0.017
	西区	名塚中学校	363	8651	0.009	0.060	0.024	○	○	0	0	0	0	0.010	0.001	0.065	0.007	0.002	0.011	0.093	0.029	86.3	0.012
	中区	若宮大通公園	362	8626	0.013	0.067	0.027	○	○	0	0	0	0	0.014	0.005	0.132	0.015	0.006	0.018	0.199	0.040	70.9	0.019
	熱田区	熱田神宮公園	363	8653	0.010	0.056	0.025	○	○	0	0	0	0	0.012	0.002	0.055	0.010	0.003	0.013	0.091	0.033	84.0	0.015
	港区	港陽	363	8650	0.012	0.068	0.027	○	○	0	0	0	0	0.013	0.003	0.101	0.013	0.004	0.016	0.134	0.040	78.5	0.017
	南区	千電	362	8631	0.011	0.061	0.023	○	○	0	0	0	0	0.012	0.003	0.070	0.010	0.004	0.014	0.117	0.031	81.5	0.016
	南区	元塩公園	363	8648	0.017	0.071	0.033	○	○	0	0	1	0.3	0.018	0.011	0.138	0.033	0.013	0.028	0.187	0.060	60.3	0.031
		自排局平均		—	—	0.012	—	—	—	—	—	—	—	0.013	0.004	—	—	0.005	0.016	—	—	—	—
	全測定局平均		—	—	0.010	—	—	—	—	—	—	—	0.011	0.003	—	—	0.003	0.013	—	—	—	—	0.014

ウ 一酸化炭素 (CO)

局種別	区	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価					長期的評価			1時間値の最高値	令和5年度の年平均値
						8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		環境基準の達成状況	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況		
						(回数)	(%)	(日)	(%)	(達成○・非達成×)	(ppm)	(達成○・非達成×)			
(日)	(時間)	(ppm)	(回数)	(%)	(日)	(%)	(達成○・非達成×)	(ppm)	(達成○・非達成×)	(ppm)	(ppm)				
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	363	8673	0.2	0	0	0	0	○	0.3	無	○	1.1	0.2
	一般局平均		---	---	0.2	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.2
自排局	南区	元塩公園	364	8665	0.3	0	0	0	0	○	0.5	無	○	2.0	0.3
	自排局平均		---	---	0.3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.3
全測定局平均			---	---	0.3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.3

エ 浮遊粒子状物質 (SPM)

局種別	区	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	短期的評価				長期的評価				環境目標値 (快適な生活環境の確保に係る目標値)年平均値 0.015mg/m <sup>3</sup> 以下の達成状況	1時間値の最高値	令和5年度の年平均値
						1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		環境基準・環境目標値 (市民の健康の保護に係る目標値)の達成状況	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準・環境目標値 (市民の健康の保護に係る目標値)の達成状況			
						(時間)	(%)	(日)	(%)							
(日)	(時間)	(mg/m <sup>3</sup> )	(時間)	(%)	(日)	(%)	(達成○・非達成×)	(mg/m <sup>3</sup> )	(達成○・非達成×)	(達成○・非達成×)	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )				
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	363	8715	0.012	0	0	0	0	○	0.027	無	○	○	0.106	0.011
	北区	城北つばさ高校	364	8728	0.013	0	0	0	0	○	0.030	無	○	○	0.121	0.014
	中村区	名楽町	363	8711	0.014	0	0	0	0	○	0.033	無	○	○	0.122	0.015
	昭和区	滝川小学校	363	8711	0.014	0	0	0	0	○	0.034	無	○	○	0.133	0.014
	中川区	八幡中学校	363	8715	0.015	0	0	0	0	○	0.036	無	○	○	0.128	0.015
	中川区	富田支所	365	8739	0.012	0	0	0	0	○	0.035	無	○	○	0.141	0.014
	港区	惟信高校	363	8717	0.013	1	0.0	0	0	×	0.034	無	○	○	0.203	0.013
	南区	白水小学校	359	8621	0.015	0	0	0	0	○	0.030	無	○	○	0.128	0.016
	守山区	守山保健センター	363	8715	0.013	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.123	0.011
	緑区	大高北小学校	363	8710	0.015	0	0	0	0	○	0.034	無	○	○	0.130	0.016
	天白区	天白保健センター	363	8719	0.013	0	0	0	0	○	0.030	無	○	○	0.119	0.013
一般局平均			---	---	0.014	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.014
自排局	北区	上下水道局北営業所	365	8738	0.013	0	0	0	0	○	0.037	無	○	○	0.128	0.013
	西区	名塚中学校	363	8712	0.016	0	0	0	0	○	0.038	無	○	×	0.130	0.017
	中区	若宮大通公園	341	8169	0.011	0	0	0	0	○	0.026	無	○	○	0.089	0.014
	熱田区	熱田神宮公園	363	8719	0.014	0	0	0	0	○	0.034	無	○	○	0.128	0.011
	港区	港陽	363	8713	0.015	0	0	0	0	○	0.037	無	○	○	0.125	0.016
	南区	千竈	363	8720	0.014	0	0	0	0	○	0.033	無	○	○	0.131	0.015
	南区	元塩公園	363	8714	0.014	0	0	0	0	○	0.031	無	○	○	0.127	0.012
自排局平均			---	---	0.014	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.014
全測定局平均			---	---	0.014	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.014

オ 光化学オキシダント (Ox)

局種別	区	測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	短 期 的 評 価					昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数及び時間数とその割合				昼間の1時間値の最高値	令和5年度の昼間年平均値	
						昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間数とその割合				環境基準・環境目標値の達成状況	(達成○・非達成×)	(日)	(%)	(時間)			(%)
						(日)	(%)	(時間)	(%)								
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	364	5424	0.037	103	28.3	507	9.3	×	0	0	0	0	0.119	0.036	
	北区	城北つばさ高校	365	5428	0.036	95	26.0	440	8.1	×	0	0	0	0	0.106	0.033	
	中村区	名楽町	365	5428	0.035	81	22.2	329	6.1	×	0	0	0	0	0.102	0.032	
	昭和区	滝川小学校	365	5427	0.034	75	20.5	319	5.9	×	0	0	0	0	0.095	0.034	
	中川区	八幡中学校	365	5433	0.036	86	23.6	350	6.4	×	0	0	0	0	0.096	0.033	
	中川区	富田支所	365	5424	0.035	82	22.5	305	5.6	×	0	0	0	0	0.101	0.032	
	港区	惟信高校	365	5425	0.035	79	21.6	279	5.1	×	0	0	0	0	0.096	0.031	
	南区	白水小学校	365	5424	0.033	57	15.6	235	4.3	×	0	0	0	0	0.091	0.032	
	守山区	守山保健センター	365	5423	0.037	105	28.8	537	9.9	×	0	0	0	0	0.119	0.034	
	緑区	大高北小学校	365	5417	0.034	57	15.6	234	4.3	×	0	0	0	0	0.098	0.033	
	天白区	天白保健センター	365	5416	0.037	88	24.1	417	7.7	×	0	0	0	0	0.112	0.033	
		一般局平均		---	---	0.035	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.033
自排局	西区	名塚中学校	365	5430	0.036	90	24.7	404	7.4	×	0	0	0	0	0.107	0.033	
	中区	若宮大通公園	365	5422	0.031	56	15.3	212	3.9	×	0	0	0	0	0.091	0.030	
	港区	港陽	365	5427	0.034	60	16.4	249	4.6	×	0	0	0	0	0.093	0.031	
		自排局平均		---	---	0.034	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.031
	全測定局平均		---	---	0.035	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.033	

カ 炭化水素（HC）

(7) 非メタン炭化水素

局種別	区	測定局	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 における 年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時 3時間平均値		6～9時3時間平均値 が0.20ppmCを超 えた日数とその割合		6～9時3時間平均値 が0.31ppmCを超 えた日数とその割合		令和5年度 の6～9時 における 年平均値 (ppmC)
							最高値	最低値	(日)	(%)	(日)	(%)	
							(ppmC)	(ppmC)	(日)	(%)	(日)	(%)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8339	0.11	0.11	363	0.31	0.00	18	5.0	0	0.0	(0.10)
	中川区	富田支所	8652	0.12	0.14	364	0.55	0.03	69	19.0	15	4.1	0.15
	一般局平均		---	0.12	0.13	---	---	---	---	---	---	---	0.15
自排局	南区	元塩公園	8652	0.11	0.12	364	0.38	0.01	37	10.2	6	1.6	0.14
	自排局平均		---	0.11	0.12	---	---	---	---	---	---	---	0.14
全測定局平均			---	0.11	0.12	---	---	---	---	---	---	---	0.15

注 令和5年度の国設名古屋大気環境測定所については、年間測定時間が6,000時間未満であるため（ ）としている。また、一般局平均及び全測定局平均の対象としない。  
以下、(イ)メタン、(ウ)全炭化水素も同じ。

(イ) メタン

局種別	区	測定局	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 における 年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時 3時間平均値		令和5年度 の6～9時 における 年平均値 (ppmC)
							最高値	最低値	
							(ppmC)	(ppmC)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8339	2.03	2.04	363	2.22	1.89	(2.03)
	中川区	富田支所	8652	2.06	2.08	364	2.51	1.93	2.08
	一般局平均		---	2.05	2.06	---	---	---	2.08
自排局	南区	元塩公園	8652	2.05	2.07	364	2.37	1.89	2.08
	自排局平均		---	2.05	2.07	---	---	---	2.08
全測定局平均			---	2.05	2.06	---	---	---	2.08

(ウ) 全炭化水素

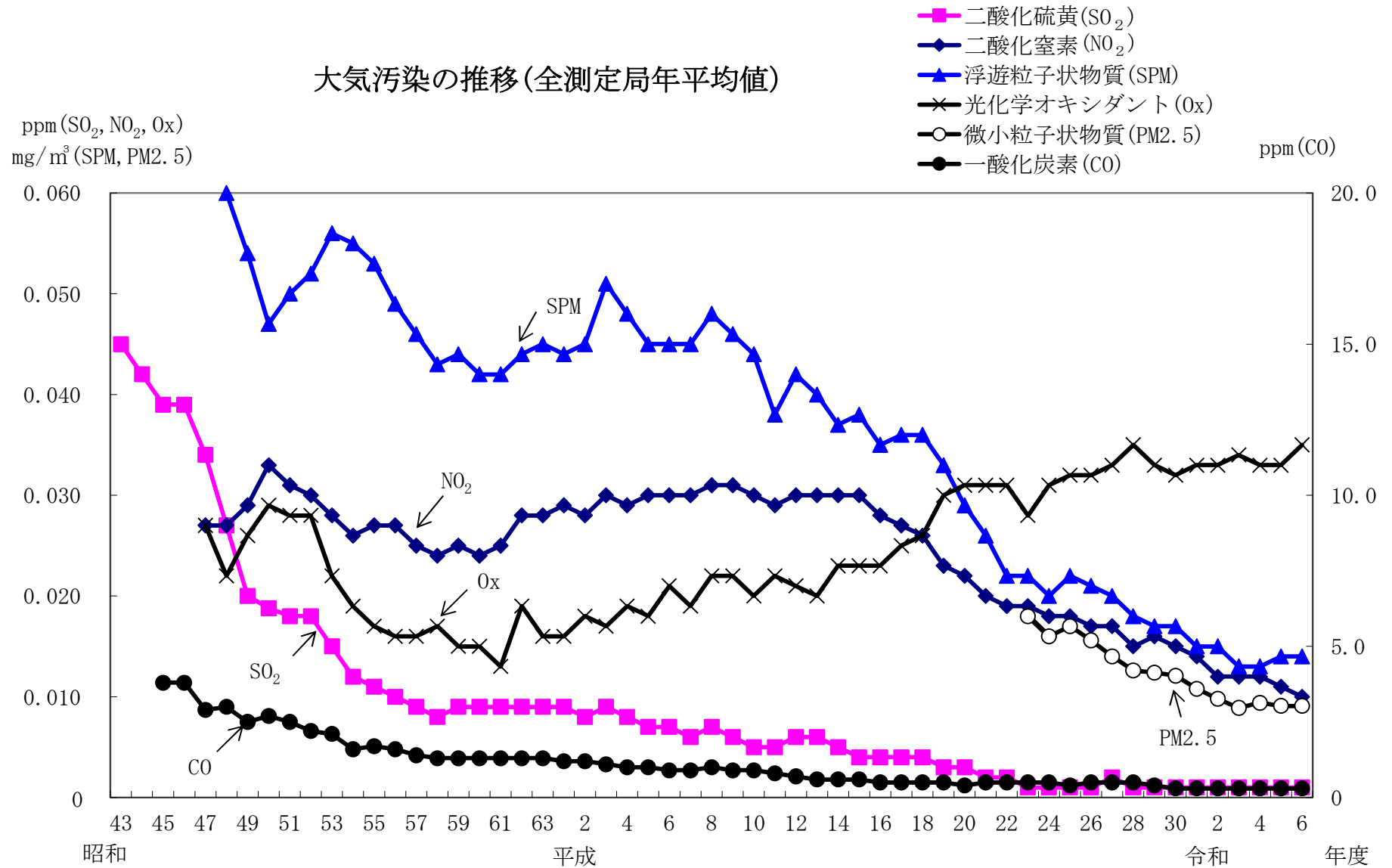
局種別	区	測定局	測定時間 (時間)	年平均値 (ppmC)	6～9時 における 年平均値 (ppmC)	6～9時 測定日数 (日)	6～9時 3時間平均値		令和5年度 の6～9時 における 年平均値 (ppmC)
							最高値	最低値	
							(ppmC)	(ppmC)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8339	2.13	2.16	363	2.53	1.95	(2.13)
	中川区	富田支所	8652	2.18	2.23	364	2.85	1.99	2.23
	一般局平均		---	2.16	2.20	---	---	---	2.23
自排局	南区	元塩公園	8652	2.16	2.19	364	2.70	1.94	2.21
	自排局平均		---	2.16	2.19	---	---	---	2.21
全測定局平均			---	2.16	2.19	---	---	---	2.22

キ 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）

局種別	区	測定局	有効測定日数	長 期 的 評 価							令和5年度の 年平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )
				短 期 基 準			長 期 基 準		環境基準・ 環境目標値 の 達成状況		
				1日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた 日数とその割合		1日平均 値の年間 98 <sup>パー</sup> セン タイル値	短期基準 との比較	年平均値		長期基準 との比較	
				(日)	(%)	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	(達成○・ 非達成×)	( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	(達成○・ 非達成×)	(達成○・ 非達成×)	
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	359	1	0.3	23.0	○	9.2	○	○	9.1
	北区	城北つばさ高校	363	1	0.3	20.2	○	8.2	○	○	8.3
	中村区	名楽町	363	1	0.3	19.5	○	7.6	○	○	7.6
	昭和区	滝川小学校	363	1	0.3	21.2	○	8.8	○	○	8.7
	中川区	八幡中学校	363	3	0.8	26.3	○	11.2	○	○	11.3
	中川区	富田支所	361	1	0.3	22.6	○	8.8	○	○	8.4
	港区	惟信高校	363	1	0.3	22.0	○	8.7	○	○	8.5
	南区	白水小学校	363	1	0.3	22.8	○	9.8	○	○	9.7
	守山区	守山保健センター	363	1	0.3	20.8	○	8.2	○	○	8.4
	緑区	大高北小学校	363	1	0.3	21.6	○	8.8	○	○	8.6
	天白区	天白保健センター	363	1	0.3	20.5	○	8.5	○	○	8.1
	一般局平均		---	---	---	---	---	8.9	---	---	8.8
自排局	北区	上下水道局北営業所	363	1	0.3	25.2	○	8.8	○	○	8.8
	西区	名塚中学校	363	1	0.3	21.8	○	8.7	○	○	8.8
	中区	若宮大通公園	363	1	0.3	23.0	○	8.7	○	○	8.7
	熱田区	熱田神宮公園	361	1	0.3	21.5	○	7.9	○	○	8.1
	港区	港陽	363	2	0.6	28.1	○	10.2	○	○	10.4
	南区	千竈	345	2	0.6	27.7	○	10.9	○	○	11.1
	南区	元塩公園	363	3	0.8	27.3	○	10.5	○	○	11.1
	自排局平均		---	---	---	---	---	9.4	---	---	9.6
全測定局平均			---	---	---	---	---	9.1	---	---	9.1

(2) 年平均値の推移

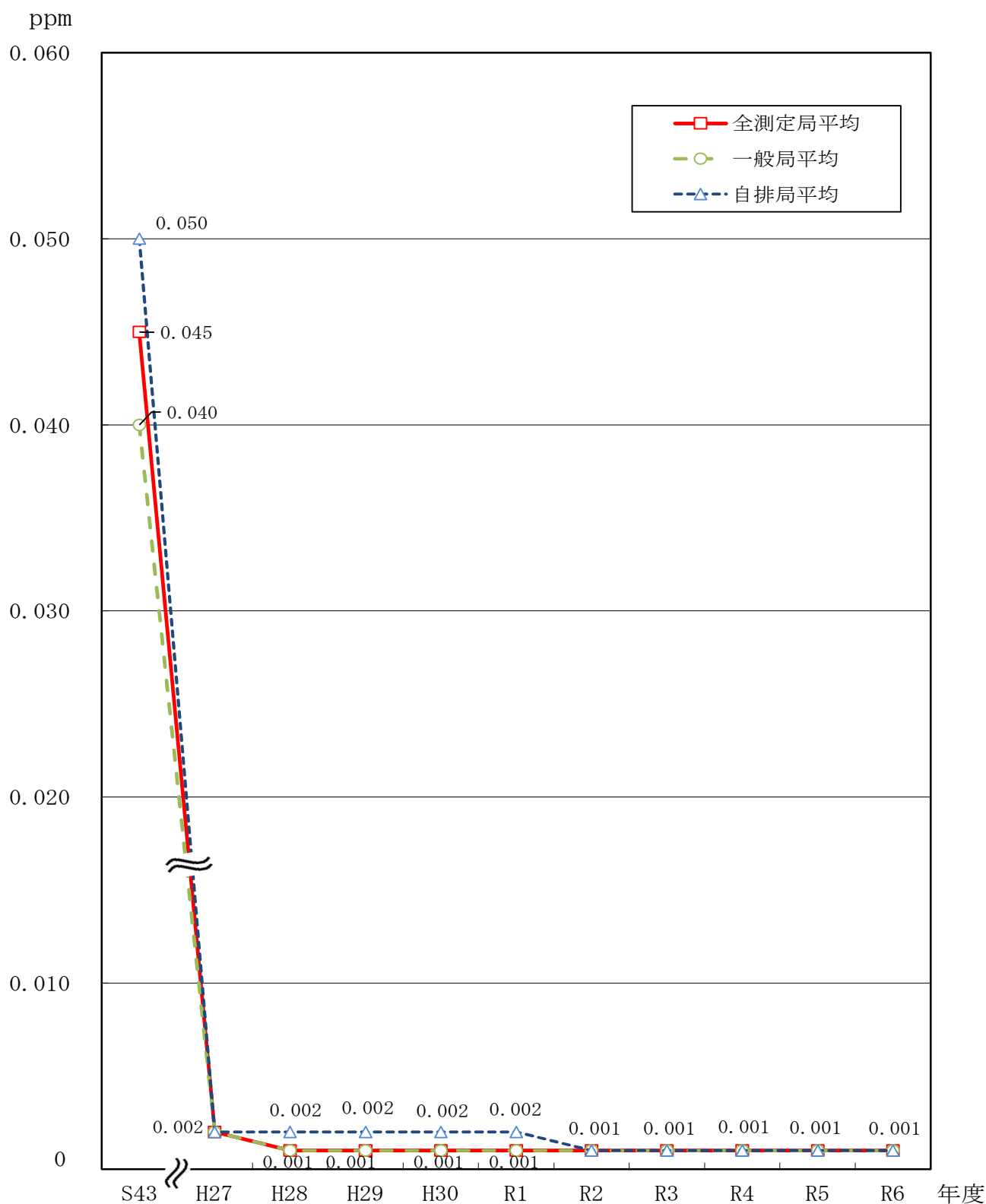
ア 大気汚染の推移(全測定局年平均値)



イ 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和43年をピークに大幅に改善され、過去10年間の推移をみると横ばいで、令和5年度と比較しても横ばいである。

令和6年度は、全測定局平均で0.001ppmであった。一般局平均は0.001ppm、自排局は0.001ppmであった。

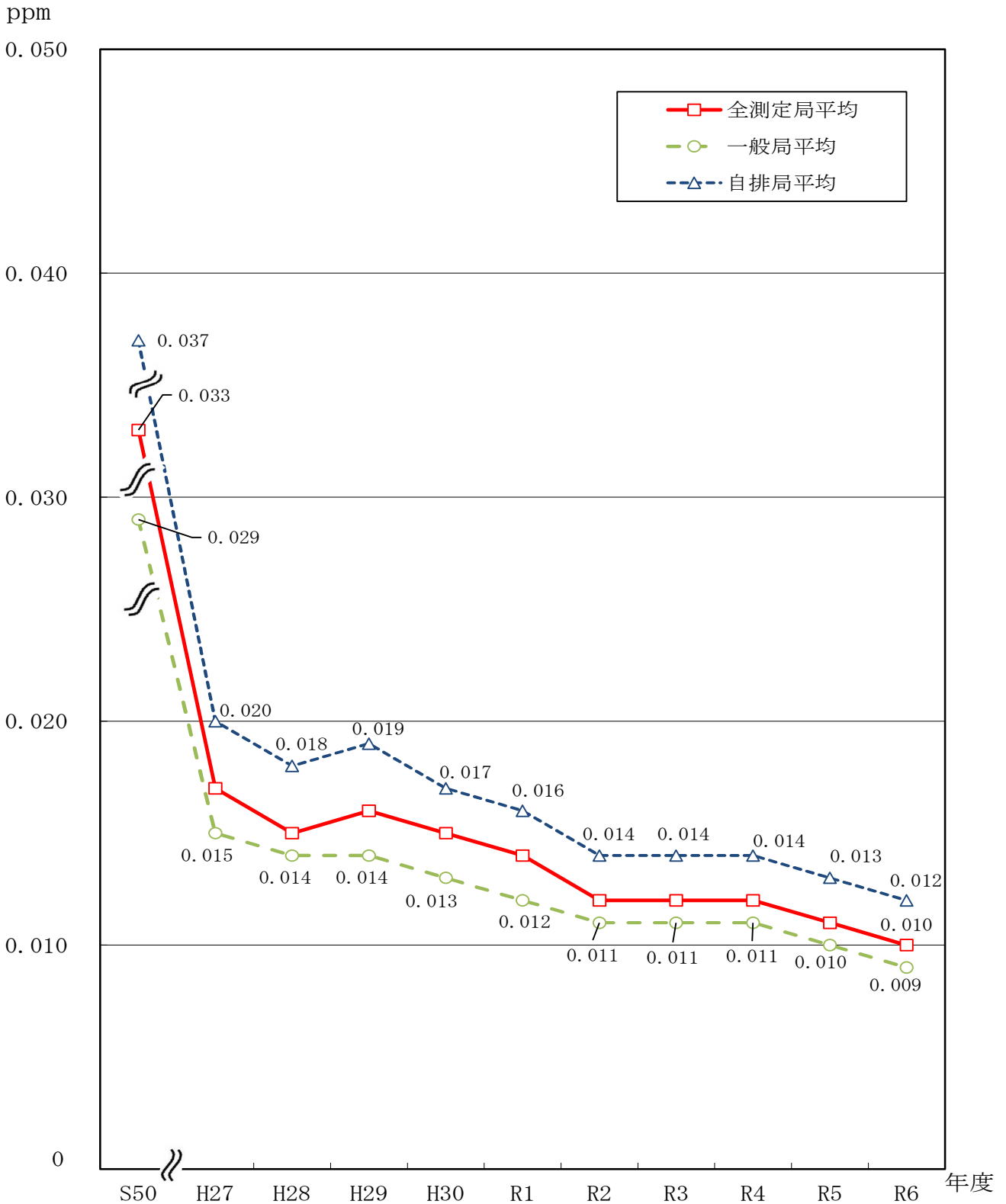


ウ 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

(ア) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和50年度をピークにその後改善を示し、過去10年間の推移をみると減少傾向で、令和5年度と比較すると横ばいである。

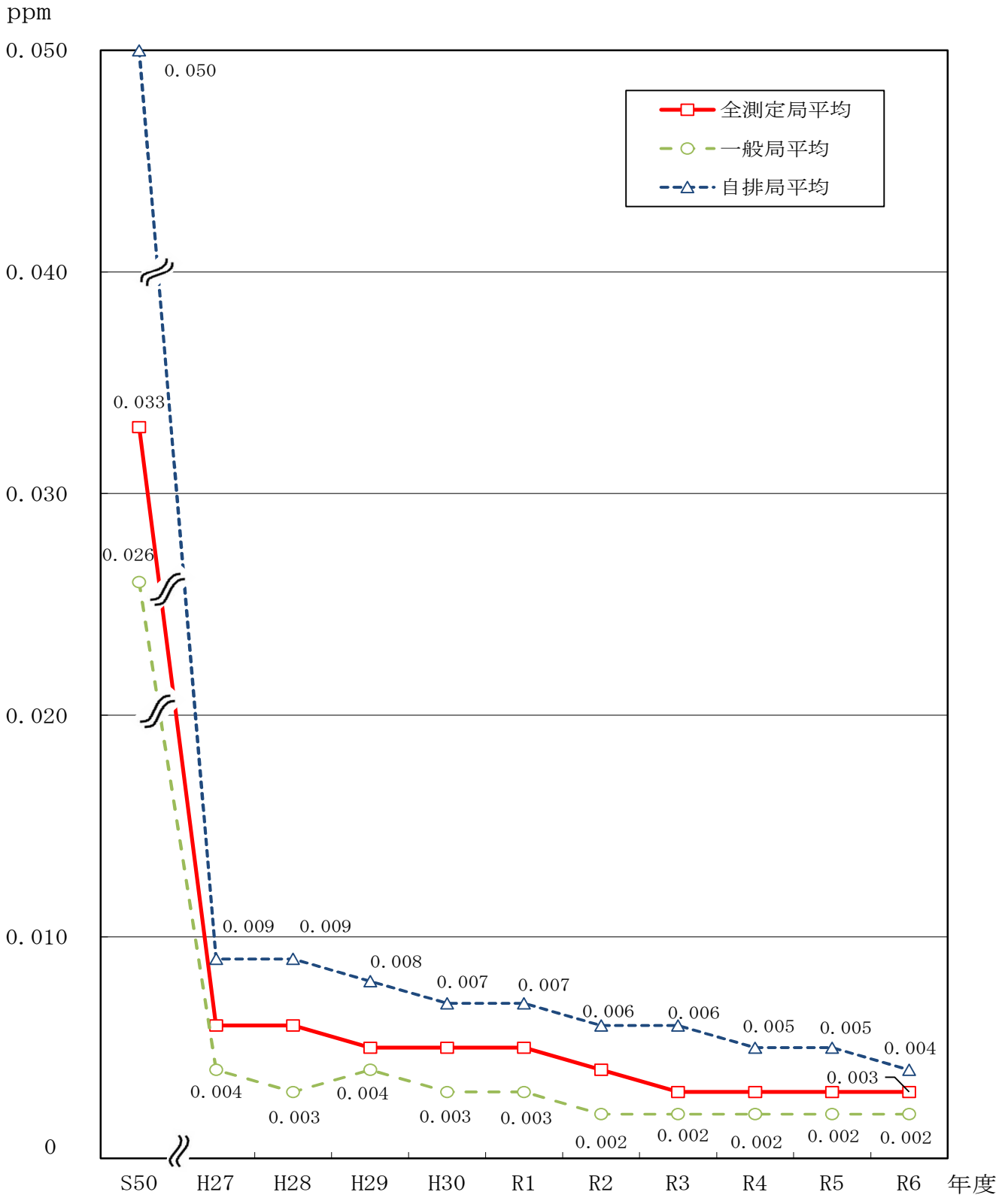
令和6年度は、全測定局平均で0.010ppmであった。一般局平均は0.009ppm、自排局平均は0.012ppmであった。



(イ) 一酸化窒素 (NO)

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和 50 年度をピークにその後改善を示し、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 5 年度と比較すると横ばいである。

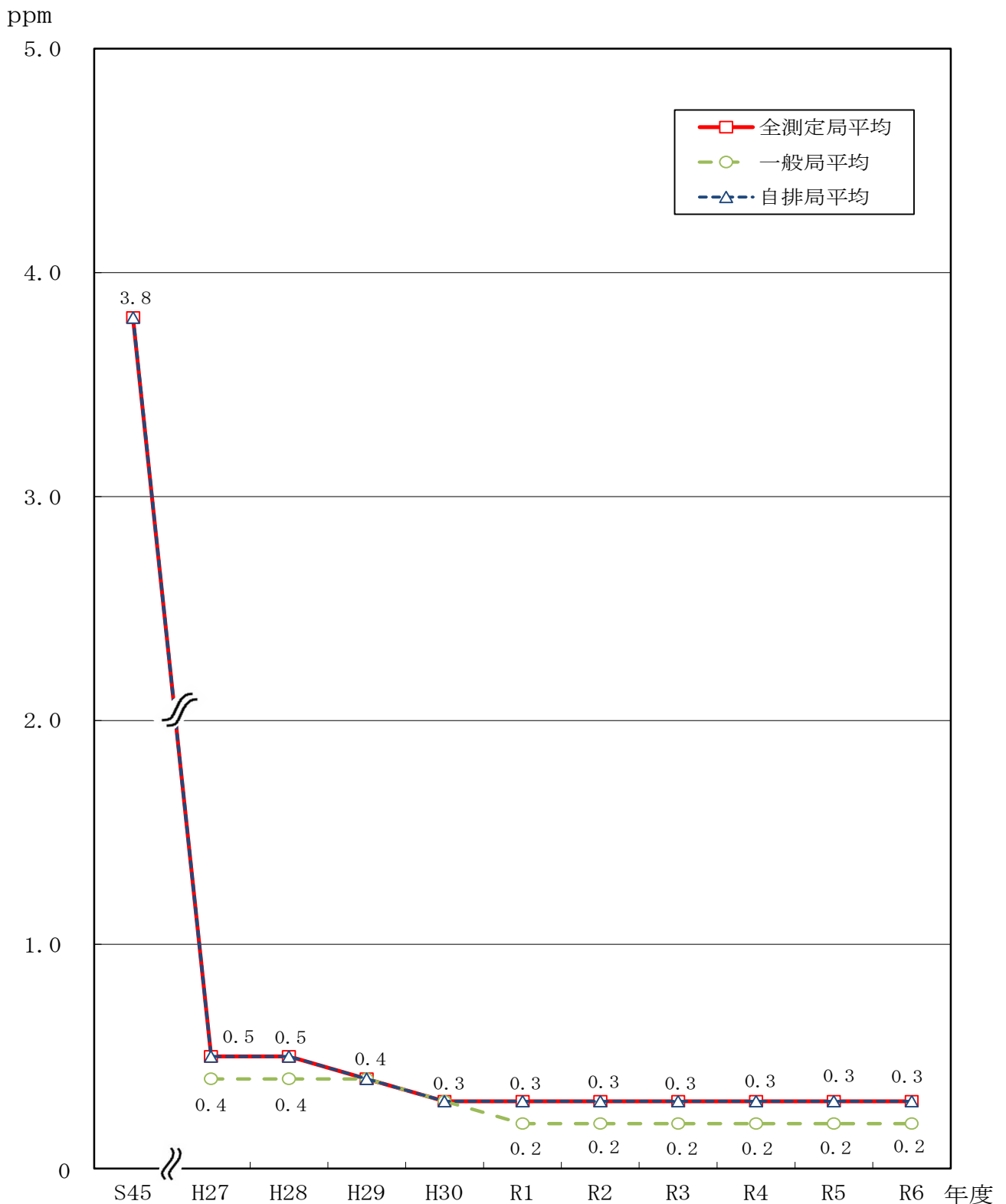
令和 6 年度は、全測定局平均で 0.003ppm であった。一般局平均は 0.002ppm、自排局平均は 0.004ppm であった。



エ 一酸化炭素（CO）

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和45年度をピークにその後改善を示した。過去10年間の推移をみると横ばいで、令和5年度と比較しても横ばいである。

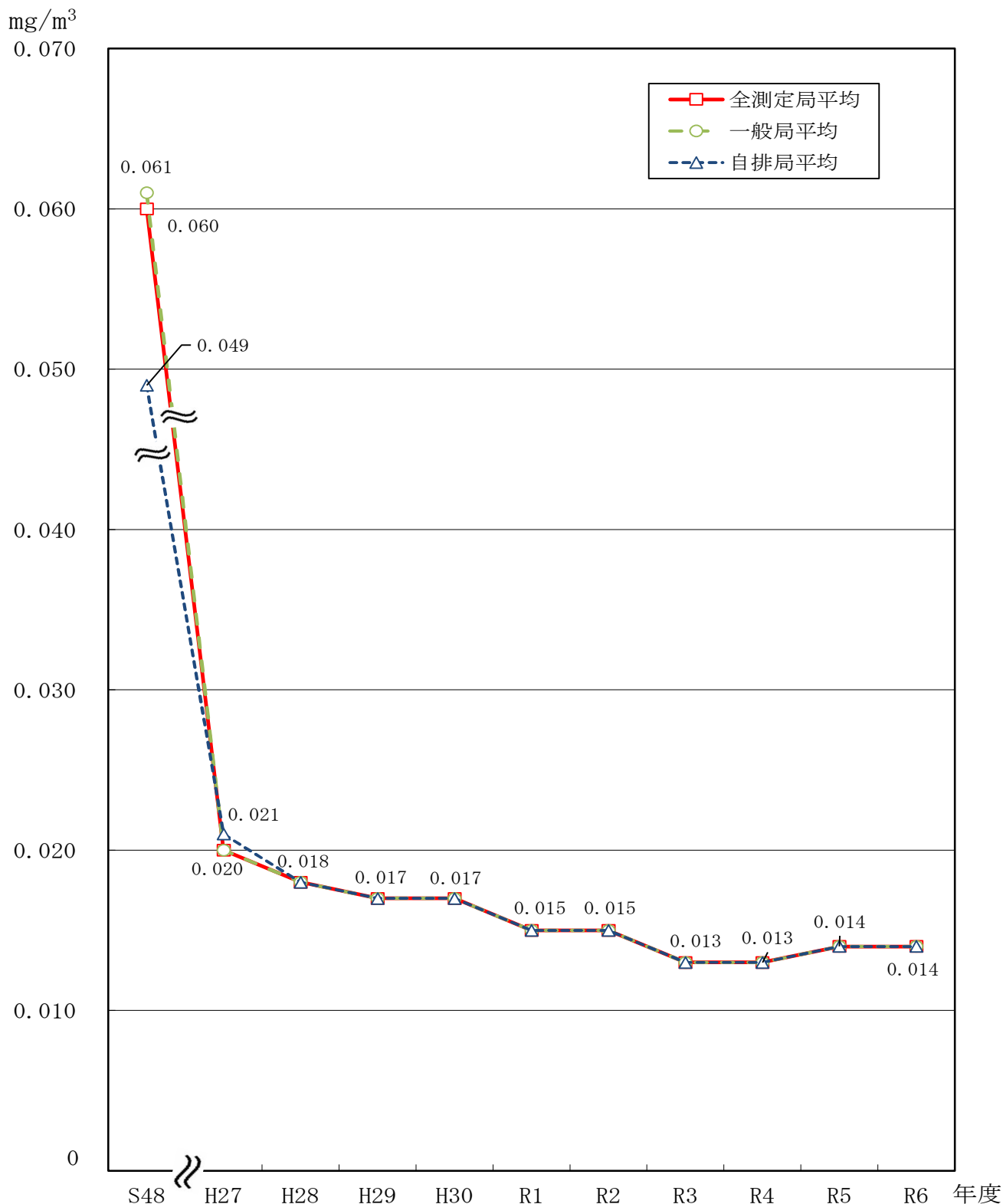
令和6年度は、全測定局平均で0.3ppmであった。一般局は0.2ppm、自排局は0.3ppmであった。



オ 浮遊粒子状物質（SPM）

全測定局の年平均値の平均で見ると、昭和48年度をピークにその後改善を示した。過去10年間の推移をみると減少傾向で、令和5年度と比較すると横ばいである。

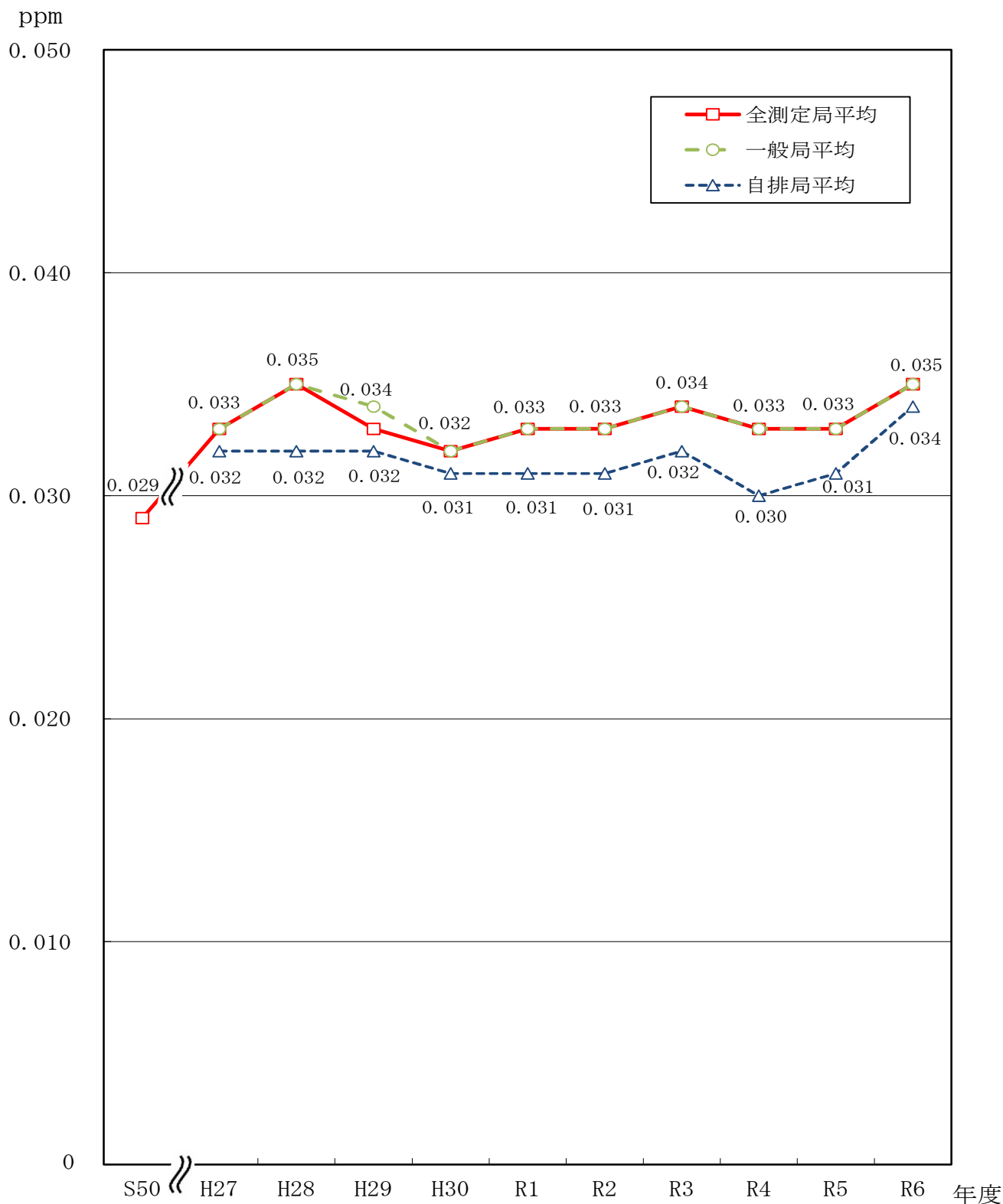
令和6年度は、全測定局平均で0.014 mg/m<sup>3</sup>であった。一般局平均は0.014 mg/m<sup>3</sup>、自排局平均は0.014 mg/m<sup>3</sup>であった。



カ 光化学オキシダント (O<sub>x</sub>)

全測定局の昼間 (5~20 時) の年平均値の平均で見ると、昭和 50 年度からいったん改善を示したが、再び増加傾向 (31 ページグラフ参照) となった。過去 10 年間の推移をみると横ばいで、令和 5 年度と比較しても横ばいである。

令和 6 年度は、全測定局平均で 0.035ppm であった。一般局平均は 0.035ppm、自排局平均は 0.034ppm であった。



参考1 令和2年の環境目標値改正時に、当面の目標として令和12年度までに「昼間（5時～20時）の1時間値が0.06ppmを超えた時間数が300時間以下であること」と設定している。

この指標による各測定局の経年変化は以下のとおりである。

単位：時間

測定局名		年度									
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
一般局	国設名古屋大気環境測定所	521	618	542	398	506	381	360	476	418	507
	城北つばさ高校	482	431	454	317	432	<b>294</b>	425	339	365	440
	名楽町	459	510	494	360	388	346	336	322	<b>275</b>	329
	滝川小学校	659	814	410	325	556	394	<b>232</b>	341	337	319
	八幡中学校	429	427	360	314	<b>274</b>	<b>243</b>	<b>208</b>	<b>277</b>	323	350
	富田支所	501	438	492	362	358	311	<b>229</b>	<b>224</b>	<b>264</b>	305
	惟信高校	378	384	357	<b>300</b>	330	<b>294</b>	302	<b>249</b>	<b>225</b>	<b>279</b>
	白水小学校	<b>272</b>	351	370	<b>221</b>	<b>281</b>	<b>244</b>	<b>205</b>	<b>224</b>	<b>258</b>	<b>235</b>
	守山保健センター	587	612	571	331	523	459	415	389	437	537
	大高北小学校	470	484	455	317	469	328	327	333	305	<b>234</b>
	天白保健センター	369	486	315	369	426	328	<b>166</b>	<b>277</b>	<b>297</b>	417
自排局	名塚中学校	362	410	375	337	391	322	<b>270</b>	347	348	404
	テレビ塔	347	345	317	<b>245</b>	—	—	—	—	—	—
	若宮大通公園	—	—	—	—	<b>263</b>	<b>245</b>	<b>207</b>	<b>184</b>	<b>190</b>	<b>212</b>
	港陽	<b>293</b>	332	317	<b>230</b>	<b>230</b>	<b>248</b>	<b>217</b>	<b>224</b>	<b>261</b>	<b>249</b>
全測定局平均 (時間数/14局)		438	474	416	316	388	317	<b>279</b>	<b>300</b>	307	344
300時間以下の局数		2/14	0/14	0/14	4/14	4/14	6/14	8/14	7/14	7/14	5/14

注1 太字ゴシックは、300時間以下を示す。

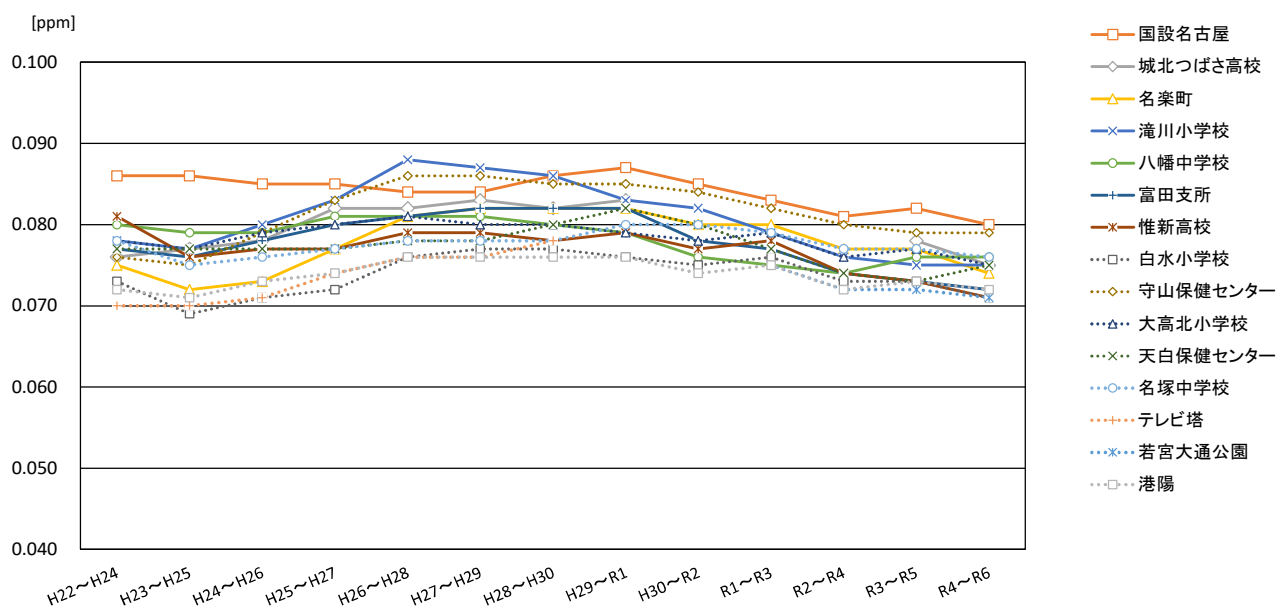
注2 テレビ塔測定局は、平成31年1月7日に廃止した。

注3 若宮大通公園測定局は、平成31年4月1日から測定を開始した。

参考2 光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標を用いた評価

環境改善効果を適切に示す指標として、平成26年9月26日環境省より「光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標(中間とりまとめ)」が示された。

この指標(日最高8時間値の年間99パーセンタイル値の3年移動平均値)による各測定局の経年変化は以下のとおりである。



測定局	年度	H22~ H24	H23~ H25	H24~ H26	H25~ H27	H26~ H28	H27~ H29	H28~ H30	H29~ R1	H30~ R2	R1~ R3	R2~ R4	R3~ R5	R4~ R6
一般局	国設名古屋	0.086	0.086	0.085	0.085	0.084	0.084	0.086	0.087	0.085	0.083	0.081	0.082	0.080
	城北つばさ高校	0.076	0.077	0.078	0.082	0.082	0.083	0.082	0.083	-	-	-	0.078	0.075
	名楽町	0.075	0.072	0.073	0.077	0.081	0.082	0.082	0.082	0.080	0.080	0.077	0.077	0.074
	滝川小学校	0.078	0.077	0.080	0.083	0.088	0.087	0.086	0.083	0.082	0.079	0.076	0.075	0.075
	八幡中学校	0.080	0.079	0.079	0.081	0.081	0.081	0.080	0.079	0.076	0.075	0.074	0.076	0.076
	富田支所	0.077	0.076	0.078	0.080	0.081	0.082	0.082	0.082	0.078	0.077	0.074	0.073	0.072
	惟新高校	0.081	0.076	0.077	0.077	0.079	0.079	0.078	0.079	0.077	0.078	0.074	0.073	0.071
	白水小学校	0.073	0.069	0.071	0.072	0.076	0.077	0.077	0.076	0.075	0.076	0.073	0.073	0.071
	守山保健センター	0.076	0.075	0.079	0.083	0.086	0.086	0.085	0.085	0.084	0.082	0.080	0.079	0.079
	大高北小学校	0.078	0.077	0.079	0.080	0.081	0.080	0.080	0.079	0.078	0.079	0.076	0.077	0.075
	天白保健センター	0.077	0.077	0.077	0.077	0.078	0.078	0.080	0.082	0.080	0.077	0.074	0.073	0.075
一般局平均	0.078	0.076	0.078	0.080	0.081	0.082	0.082	0.081	0.080	0.079	0.076	0.076	0.075	
自排局	名塚中学校	0.078	0.075	0.076	0.077	0.078	0.078	0.078	0.080	0.080	0.079	0.077	0.077	0.076
	テレビ塔	0.070	0.070	0.071	0.074	0.076	0.076	0.078	-	-	-	-	-	-
	若宮大通公園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.075	0.072	0.072	0.071
	港陽	0.072	0.071	0.073	0.074	0.076	0.076	0.076	0.076	0.074	0.075	0.072	0.073	0.072
自排局平均	0.073	0.072	0.073	0.075	0.077	0.077	0.077	0.078	0.077	0.076	0.074	0.074	0.073	
全測定局平均	0.077	0.075	0.077	0.079	0.080	0.081	0.081	0.081	0.081	0.079	0.078	0.075	0.076	0.074

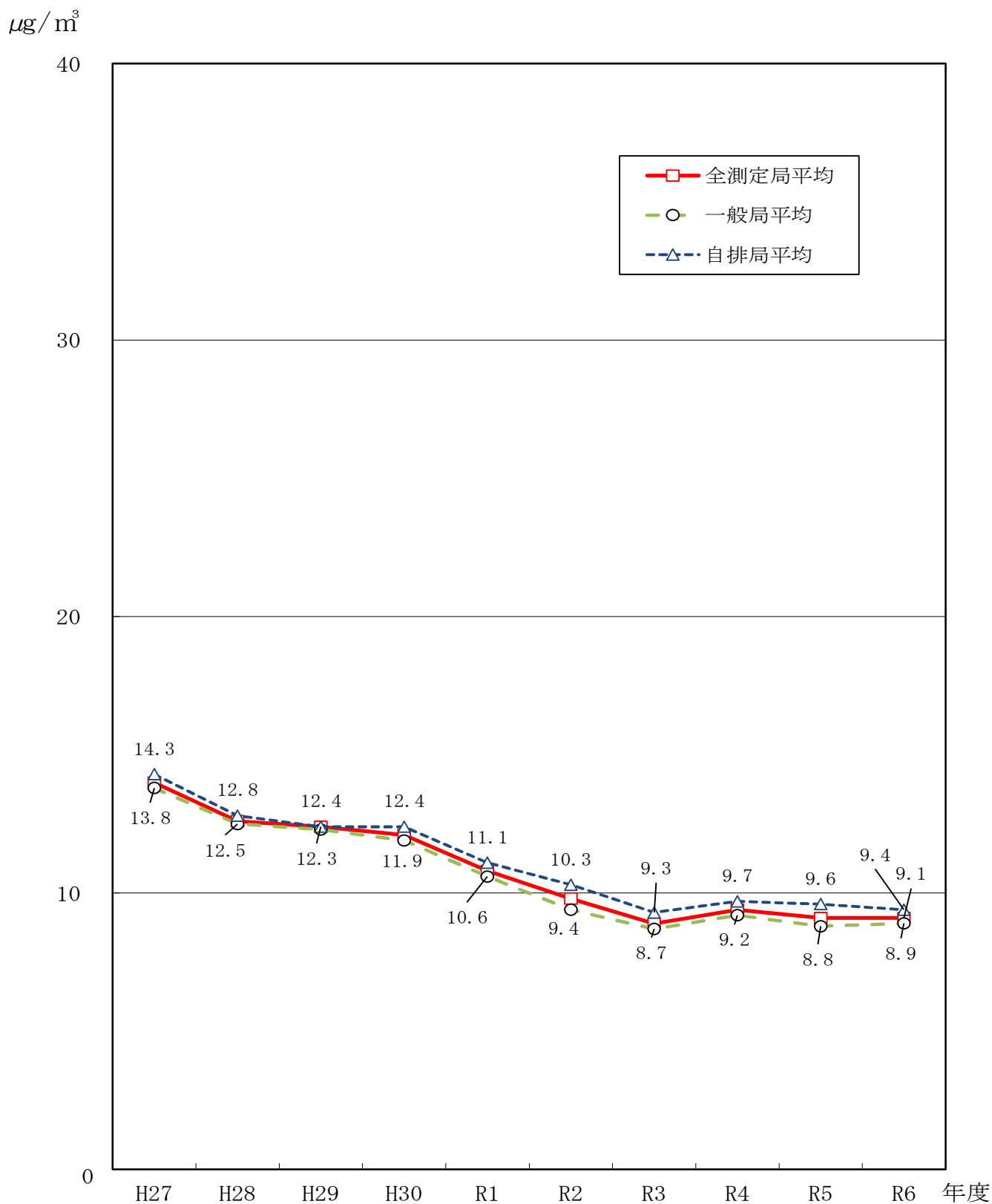
注1 テレビ塔測定局は、平成31年1月7日に廃止し、若宮大通公園は平成31年4月1日から測定を開始した。

注2 令和2年度における城北つばさ高校は日最高8時間値の有効測定日数が250日に満たないため、算出対象としていない。

### キ 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）

全測定局の年平均値の平均について、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 5 年度と比較すると横ばいである。

令和 6 年度は、全測定局平均で 9.1  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。一般局平均は 8.9  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局平均は 9.4  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。



### (3) 大気汚染物質の経年変化

#### ア 全測定局の経年変化

項目		年度	S 4 8	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)		0.027	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		3/17	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	4/4	5/5	5/5	4/4	5/5
	(達成率 %)		( 18)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.027	0.017	0.015	0.016	0.015	0.014	0.012	0.012	0.012	0.011	0.010
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/10	17/17	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	17/17	18/18	18/18
		(達成率 %)	( 70)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.038	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003
		測定局数	10	17	18	18	18	18	17	18	17	18	18
	窒素酸化物	年平均値 (ppm)	0.064	0.023	0.021	0.021	0.019	0.018	0.016	0.015	0.015	0.014	0.013
測定局数		10	17	18	18	18	18	17	18	17	18	18	
一酸化炭素	年平均値 (ppm)	3.0	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	9/ 9	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	----	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	0.060	0.020	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013	0.014	0.014	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	2/16	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18	18/18	18/18	
	(達成率 %)	( 13)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	----	15/18	18/18	16/18	16/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/18	
	(達成率 %)		( 83)	(100)	( 89)	( 89)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	( 94)	
光化学オキシダント	昼間(5~20時)の 年平均値 (ppm)	0.022	0.033	0.035	0.033	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033	0.033	0.035	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	0/10	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	
	(達成率 %)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	
炭化水素	非メタン炭化水素	6~9時における 年平均値 (ppmC)	----	0.18	0.16	0.18	0.18	0.17	0.15	0.16	0.15	0.15	
		測定局数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	2	
	メタン	6~9時における 年平均値 (ppmC)	----	1.97	1.98	1.98	1.98	2.00	2.00	2.03	2.05	2.08	
		測定局数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	2	
微小粒子状物質	年平均値 (μg/m <sup>3</sup> )	----	14.0	12.6	12.4	12.1	10.8	9.8	8.9	9.4	9.1		
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	----	15/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18	18/18		
	(達成率 %)	----	( 83)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		

注1 年平均値は、全測定局のうち有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

注3 二酸化窒素の環境基準達成局の割合のうち昭和48年度は、新ザルツマン係数による補正を加え現行の環境基準（昭和53年環境庁告示第38号）に対比したものである。

注4 光化学オキシダントの年平均値のうち、昭和48年度は全日における年平均値である。

注5 炭化水素は、昭和51年に光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針が示され、午前6~9時における年平均値が算出されるようになったため、それ以前である昭和48年度については算出していない。

イ 一般環境大気測定局の経年変化

項目		年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)		0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	3/3	4/4	4/4	3/3	4/4
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.015	0.014	0.014	0.013	0.012	0.011	0.011	0.011	0.010	0.009
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	10/10	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	10/10	11/11	11/11
		(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
		測定局数	10	11	11	11	11	10	11	10	11	11
	窒素酸化物	年平均値 (ppm)	0.019	0.017	0.018	0.016	0.015	0.013	0.013	0.012	0.012	0.011
測定局数		10	11	11	11	11	10	10	10	11	11	
一酸化炭素	年平均値 (ppm)		0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.020	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013	0.014	0.014
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11	11/11	11/11
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		10/11	11/11	10/11	9/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/11
	(達成率 %)		( 91)	(100)	( 91)	( 82)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	( 91)
光化学オキシダント	昼間(5~20時)の 年平均値 (ppm)		0.033	0.035	0.034	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033	0.033	0.035
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11
	(達成率 %)		( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
炭化水素	非メタン炭化水素	6~9時における 年平均値 (ppmC)	0.15	0.13	0.15	0.16	0.14	0.13	0.14	0.14	0.15	0.13
		測定局数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
	メタン	6~9時における 年平均値 (ppmC)	1.97	1.98	1.98	1.98	2.00	2.01	2.04	2.06	2.08	2.06
		測定局数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
微小粒子状物質	年平均値 (μg/m <sup>3</sup> )		13.8	12.5	12.3	11.9	10.6	9.4	8.7	9.2	8.8	8.9
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		9/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11	11/11	11/11
	(達成率 %)		( 82)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

ウ 自動車排出ガス測定局の経年変化

項目		年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)		0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.020	0.018	0.019	0.017	0.016	0.014	0.014	0.014	0.013	0.012
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7
		(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.009	0.009	0.008	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.005	0.004
		測定局数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	窒素酸化物	年平均値 (ppm)	0.029	0.027	0.027	0.024	0.023	0.021	0.020	0.019	0.018	0.016
測定局数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
一酸化炭素	年平均値 (ppm)	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	0.021	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013	0.014	0.014	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	
	(達成率 %)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	5/7	7/7	6/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	
	(達成率 %)	( 71)	(100)	( 86)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	
光化学オキシダント	昼間(5~20時)の 年平均値 (ppm)	0.032	0.032	0.032	0.031	0.031	0.031	0.032	0.030	0.031	0.034	
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	
	(達成率 %)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	
炭化水素	非メタン炭化水素	6~9時における 年平均値 (ppmC)	0.23	0.22	0.23	0.23	0.22	0.20	0.20	0.17	0.14	0.12
		測定局数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	メタン	6~9時における 年平均値 (ppmC)	1.97	1.98	1.99	1.99	2.00	1.99	2.03	2.04	2.08	2.07
		測定局数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
微小粒子状物質	年平均値 (μg/m <sup>3</sup> )	14.3	12.8	12.4	12.4	11.1	10.3	9.3	9.7	9.6	9.4	
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)	6/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	
	(達成率 %)	( 86)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

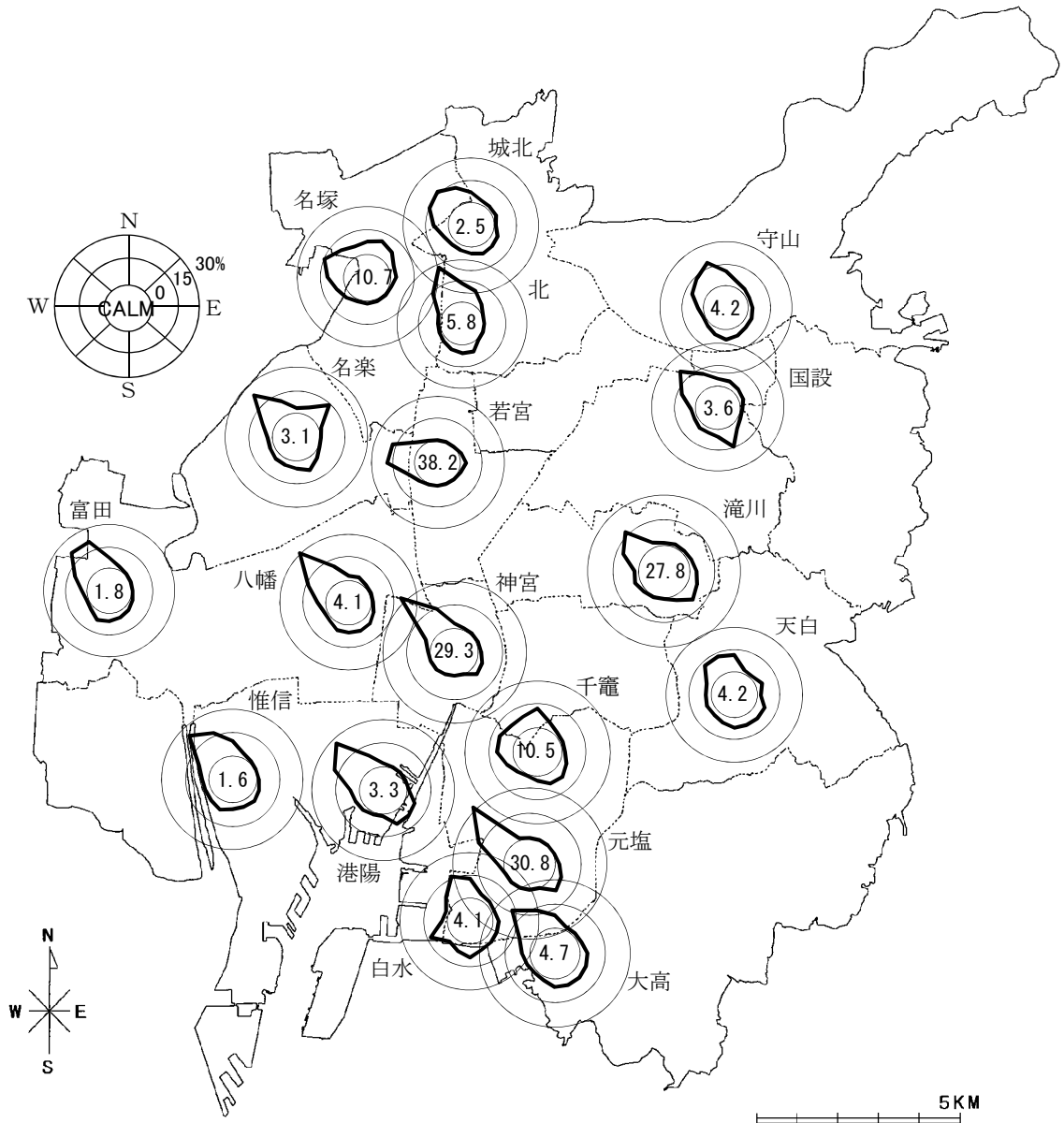
## (4) 気象項目測定結果

測定局		年平均 風速 (m/s)	年間 最多 風向	年平均 温度 (℃)	年平均 湿度 (%)	年間合計 <sup>注1</sup> 紫外線量 (mWh/m <sup>2</sup> )
一般環境 大気測定局	国設名古屋大気環境測定所	1.8	NW	17.8	66.7	
	城北つばさ高校	2.3	NW	—	—	—
	名 楽 町	2.2	NW	—	—	—
	滝川小学校	1.2	NW	—	—	—
	八幡中学校	2.2	NW	—	—	—
	富田支所	2.7	NW	18.5	65.0	—
	惟信高校	2.9	NW	—	—	—
	白水小学校	2.1	NNW	—	—	—
	守山保健センター	2.4	NNW	—	—	—
	大高北小学校	2.6	NW	—	—	—
	天白保健センター <sup>注2</sup>	2.9	NNW	—	—	4054.74
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	1.8	NNW	—	—	—
	名塚中学校	1.4	WNW	—	—	—
	若宮大通公園	0.7	W	18.2	65.5	—
	熱田神宮公園	1.0	NW	—	—	—
	港 陽	2.7	NW	—	—	—
	千 竈	1.3	N	—	—	—
	元塩公園	0.9	NW	—	—	—

注1 紫外線は、A波（波長315～400nm）を測定している。

注2 天白保健センター測定局の風向風速計は令和6年8月16日から令和7年3月23日まで、紫外線計は令和6年9月4日から令和7年3月31日まで故障のため欠測で、当該期間を除いたデータである。

# 風配図分布図



- 注1 円内の数値は、CALMの割合をパーセントで示す。
- 注2 CALMとは、風速0.4m/sec以下の状態を示す。
- 注3 天白保健センター測定局の風向風速計は、令和6年8月16日から令和7年3月23日まで故障のため欠測で、当該期間を除いたデータである。

## 2 有害大気汚染物質等モニタリング結果

### (1) 環境基準が定められている物質

#### ① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	環境基準
ベンゼン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.79	0.31	0.39	0.64	0.51	0.51	0.44	0.42	0.97	0.54	0.85	0.61	0.58	0.31	0.97	3 以下
	富田支所	0.65	0.45	0.29	0.51	0.56	0.54	0.38	0.49	1.0	0.52	0.81	0.57	0.56	0.29	1.0	
	港陽	0.52	0.29	0.30	0.72	0.50	0.70	0.34	0.75	0.84	0.55	0.76	0.62	0.57	0.29	0.84	
	野跡小学校	0.58	0.51	0.35	0.56	0.56	0.59	0.38	0.70	0.88	0.70	1.1	0.67	0.63	0.35	1.1	
	白水小学校	0.47	0.29	0.58	0.78	0.59	0.70	0.47	0.78	0.81	0.57	0.89	0.67	0.63	0.29	0.89	
	本地通	0.64	0.33	0.51	0.85	0.66	0.86	0.39	0.85	1.0	0.63	0.92	0.73	0.70	0.33	1.0	
	元塩公園	0.45	0.38	0.43	0.76	0.54	0.86	0.40	0.91	0.90	0.61	0.84	0.70	0.65	0.38	0.91	
トリクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.33	0.14	0.34	0.83	0.20	0.16	0.21	0.21	0.11	0.17	0.20	0.28	0.26	0.11	0.83	130 以下
	富田支所	0.27	0.072	0.28	0.81	0.27	0.30	0.34	0.11	0.14	0.040	0.34	0.40	0.28	0.040	0.81	
	港陽	0.34	0.11	0.42	0.86	0.23	0.23	0.25	0.25	0.18	0.083	0.31	1.1	0.36	0.083	1.1	
	野跡小学校	0.20	0.077	0.47	0.69	0.21	0.48	1.0	1.4	0.18	0.14	0.89	0.97	0.56	0.077	1.4	
	白水小学校	0.17	0.11	0.34	0.58	0.24	0.30	0.21	0.25	0.34	0.091	0.21	0.47	0.28	0.091	0.58	
	本地通	1.7	0.78	0.45	0.94	0.31	0.50	0.31	0.31	0.55	0.17	0.44	0.61	0.59	0.17	1.7	
	元塩公園	0.25	0.093	0.41	0.83	0.25	0.24	0.31	0.26	0.55	0.28	0.26	0.42	0.35	0.093	0.83	
テトラクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.10	0.030	0.056	0.18	0.24	0.10	0.054	0.16	0.064	0.32	0.057	0.040	0.12	0.030	0.32	200 以下
	富田支所	0.049	0.028	0.054	0.13	0.031	0.064	0.046	0.041	0.034	0.028	0.060	0.061	0.052	0.028	0.13	
	港陽	0.18	0.42	0.12	0.21	0.049	0.056	0.18	0.19	0.052	0.042	0.073	0.11	0.14	0.042	0.42	
	野跡小学校	0.052	0.029	0.069	0.16	0.040	0.084	0.13	0.064	0.035	0.031	0.067	0.17	0.078	0.029	0.17	
	白水小学校	0.047	0.030	0.88	0.11	0.074	0.078	0.39	0.32	0.043	0.043	0.19	0.31	0.21	0.030	0.88	
	本地通	0.048	0.064	0.13	0.16	0.090	0.11	0.10	0.14	0.11	0.077	0.15	0.074	0.10	0.048	0.16	
	元塩公園	0.067	0.27	0.14	0.18	0.076	0.069	0.13	0.11	0.20	0.23	0.25	0.078	0.15	0.067	0.27	
ジクロロメタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	2.8	1.2	1.8	2.9	1.9	1.3	1.7	1.2	1.7	1.2	1.4	1.2	1.7	1.2	2.9	150 以下
	富田支所	1.8	1.3	1.4	2.2	1.4	1.5	1.8	2.0	2.6	1.2	1.8	1.5	1.7	1.2	2.6	
	港陽	2.8	1.9	1.8	3.7	1.4	2.0	1.6	1.6	2.1	0.67	2.2	1.8	2.0	0.67	3.7	
	野跡小学校	1.5	0.95	1.8	3.0	1.3	1.8	1.2	1.5	1.8	0.65	1.7	1.7	1.6	0.65	3.0	
	白水小学校	3.7	4.4	2.2	4.7	1.6	4.5	1.6	1.3	5.8	0.60	2.2	3.4	3.0	0.60	5.8	
	本地通	8.5	2.0	5.4	6.2	3.1	3.9	4.4	5.6	4.1	0.84	2.6	2.3	4.1	0.84	8.5	
	元塩公園	12	7.5	4.1	7.3	2.1	3.0	2.7	4.4	3.7	0.60	1.8	5.6	4.6	0.60	12	

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	環境基準
ベンゼン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	1.1	1.1									3 以下
	会所町			0.95	0.96	0.90	0.74	0.89	0.74	0.68	0.58	
	富田支所	1.1	1.0	0.87	0.90	0.79	0.68	0.89	0.67	0.60	0.56	
	港陽	1.1	1.0	0.91	0.90	0.75	0.68	0.80	0.68	0.68	0.57	
	野跡小学校			1.1	1.0	0.92	0.78	1.1	0.78	0.70	0.63	
	白水小学校	1.2	1.1	1.1	1.1	0.83	0.72	0.92	0.78	0.73	0.63	
	本地通	1.2	1.1	1.2	1.4	0.92	0.77	0.94	0.86	0.76	0.70	
	元塩公園			1.1	0.98	0.86	0.72	0.83	0.77	0.68	0.65	
トリクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.39	0.40									130 以下
	会所町			0.40	0.55	0.34	0.19	0.40	0.23	0.27	0.26	
	富田支所	0.60	0.50	0.52	0.65	0.42	0.26	0.50	0.41	0.29	0.28	
	港陽	1.2	1.6	1.9	1.6	1.6	0.59	0.52	0.51	0.36	0.36	
	野跡小学校			1.4	1.7	1.4	1.1	0.90	0.85	0.67	0.56	
	白水小学校	0.65	0.73	0.78	0.84	0.72	0.39	0.65	0.52	0.39	0.28	
	本地通	1.3	1.0	1.4	2.4	1.2	1.0	2.0	1.1	1.0	0.59	
	元塩公園			0.76	0.95	0.68	0.32	0.68	0.54	0.47	0.35	
テトラクロロ エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.23	0.28									200 以下
	会所町			0.17	0.15	0.098	0.067	0.10	0.13	0.091	0.12	
	富田支所	0.10	0.090	0.10	0.13	0.072	0.038	0.064	0.10	0.066	0.052	
	港陽	0.17	0.17	0.21	0.19	0.22	0.12	0.23	0.39	0.37	0.14	
	野跡小学校			0.19	0.17	0.091	0.057	0.085	0.082	0.11	0.078	
	白水小学校	0.17	0.27	0.36	0.27	0.21	0.10	0.19	0.25	0.27	0.21	
	本地通	0.20	0.21	0.21	0.26	0.19	0.13	0.17	0.13	0.31	0.10	
	元塩公園			0.33	0.26	0.25	0.21	0.25	0.21	0.40	0.15	
ジクロロメタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	2.3	3.1									150 以下
	会所町			2.3	2.6	1.9	1.8	2.5	4.1	2.8	1.7	
	富田支所	1.9	2.3	1.9	1.9	1.9	1.9	2.5	4.4	3.5	1.7	
	港陽	1.4	1.9	2.1	2.6	2.0	2.0	2.6	8.4	3.7	2.0	
	野跡小学校			2.3	3.4	2.1	1.8	2.4	4.0	2.9	1.6	
	白水小学校	2.5	2.4	2.4	3.8	2.8	2.2	5.3	7.7	4.2	3.0	
	本地通	2.7	4.2	4.7	4.6	4.0	3.9	4.2	7.6	5.2	4.1	
	元塩公園			3.1	4.5	3.6	3.3	5.2	6.4	5.3	4.6	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

## (2) 指針値が定められている物質

## ① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	指針値
アクリロニトリル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.068	0.017	0.049	0.059	0.021	0.032	0.027	0.022	0.055	0.014	0.087	0.022	0.039	0.014	0.087	2 以下
	富田支所	0.071	0.019	0.017	0.043	0.015	0.050	0.015	0.028	0.040	0.008	0.041	0.017	0.030	0.008	0.071	
	港陽	0.075	0.040	0.024	0.055	0.047	0.11	0.022	0.086	0.045	0.018	0.039	0.036	0.050	0.018	0.11	
	野跡小学校	0.067	0.044	0.021	0.036	0.020	0.086	0.020	0.045	0.037	0.011	0.030	0.023	0.037	0.011	0.086	
	白水小学校	0.029	0.068	0.042	0.15	0.096	0.11	0.055	0.078	0.070	0.036	0.052	0.042	0.069	0.029	0.15	
	本地通	0.032	0.014	0.022	0.050	0.052	0.068	0.015	0.072	0.040	0.012	0.044	0.016	0.036	0.012	0.072	
	元塩公園	0.079	0.046	0.057	0.091	0.089	0.13	0.019	0.10	0.14	0.018	0.058	0.037	0.072	0.018	0.14	
塩化ビニル モノマー ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.099	<0.005	0.007	0.019	0.009	<0.005	<0.005	<0.005	0.013	0.008	0.013	<0.005	0.015	<0.005	0.099	10 以下
	富田支所	0.091	<0.005	0.009	0.031	0.005	0.006	0.006	0.012	0.011	0.008	0.011	<0.005	0.016	<0.005	0.091	
	港陽	0.013	<0.005	<0.005	0.041	0.005	0.009	0.005	0.019	0.015	0.012	0.015	<0.005	0.012	<0.005	0.041	
	野跡小学校	0.012	<0.005	<0.005	0.038	<0.005	0.005	<0.005	0.022	0.013	0.011	0.013	<0.005	0.011	<0.005	0.038	
	白水小学校	0.015	<0.005	0.005	0.035	0.006	0.007	0.006	0.022	0.008	0.021	0.024	0.005	0.013	<0.005	0.035	
	本地通	0.013	<0.005	<0.005	0.028	0.007	0.005	<0.005	0.017	0.010	0.017	0.011	<0.005	0.010	<0.005	0.028	
	元塩公園	0.017	<0.005	0.006	0.029	0.011	0.007	<0.005	0.021	0.011	0.017	0.014	<0.005	0.012	<0.005	0.029	
水銀及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	0.92	1.1	0.74	1.6	1.1	1.5	1.2	1.3	1.4	0.92	1.3	1.4	1.2	0.74	1.6	40 以下
	富田支所	1.4	1.4	1.2	2.4	1.3	1.9	3.3	1.8	1.5	1.3	1.3	1.9	1.7	1.2	3.3	
	港陽	1.7	2.1	1.9	2.7	1.8	2.5	2.1	2.2	1.9	1.5	1.6	2.0	2.0	1.5	2.7	
	白水小学校	1.4	1.8	1.6	2.8	2.5	3.0	2.5	2.0	1.7	1.6	1.2	1.9	2.0	1.2	3.0	
	本地通	1.1	1.4	0.90	2.0	1.2	1.6	2.7	1.8	1.7	1.5	1.0	1.6	1.5	0.90	2.7	
	元塩公園	1.3	1.4	1.0	2.3	1.6	2.0	1.9	1.6	1.5	1.5	1.2	1.7	1.6	1.0	2.3	
	元塩公園	1.3	1.4	1.0	2.3	1.6	2.0	1.9	1.6	1.5	1.5	1.2	1.7	1.6	1.0	2.3	
ニッケル化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	1.4	0.34	1.2	5.3	2.3	2.3	1.0	1.2	1.2	0.20	3.3	1.4	1.8	0.20	5.3	25 以下
	富田支所	3.4	0.70	0.94	1.8	4.0	3.6	1.1	1.2	1.8	0.17	4.3	1.2	2.0	0.17	4.3	
	港陽	6.0	2.4	1.4	4.2	5.9	4.7	3.1	4.8	2.6	1.2	3.9	2.6	3.6	1.2	6.0	
	白水小学校	3.1	2.0	45	5.8	5.2	6.5	2.8	11	17	3.9	26	16	12	2.0	45	
	本地通	3.4	2.6	1.9	5.1	4.8	13	1.7	14	5.4	3.0	6.4	5.0	5.5	1.7	14	
	元塩公園	2.9	1.3	1.5	5.5	6.6	16	1.9	15	5.3	4.2	4.0	2.1	5.5	1.3	16	
	元塩公園	2.9	1.3	1.5	5.5	6.6	16	1.9	15	5.3	4.2	4.0	2.1	5.5	1.3	16	
クロロホルム ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.18	0.15	0.15	0.15	0.14	0.13	0.14	0.15	0.20	0.10	0.14	0.10	0.14	0.10	0.20	18 以下
	富田支所	0.17	0.15	0.15	0.17	0.20	0.19	0.13	0.15	0.23	0.11	0.15	0.11	0.16	0.11	0.23	
	港陽	0.17	0.19	0.16	0.28	0.28	0.34	0.14	0.16	0.21	0.11	0.16	0.13	0.19	0.11	0.34	
	野跡小学校	0.20	0.16	0.17	0.25	0.35	0.32	0.17	0.18	0.23	0.11	0.16	0.12	0.20	0.11	0.35	
	白水小学校	0.12	0.15	0.69	0.32	0.30	0.22	0.74	0.38	0.25	0.12	0.22	0.53	0.34	0.12	0.74	
	本地通	0.13	0.15	0.20	0.22	0.20	0.23	0.14	0.19	0.23	0.14	0.19	0.14	0.18	0.13	0.23	
	元塩公園	0.21	0.23	0.17	0.50	0.21	0.55	0.16	0.34	0.27	0.15	0.19	0.15	0.26	0.15	0.55	
1,2-ジクロロ エタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.15	0.14	0.11	0.14	0.14	0.082	0.11	0.15	0.23	0.10	0.28	0.084	0.14	0.082	0.28	1.6 以下
	富田支所	0.15	0.14	0.11	0.15	0.14	0.13	0.10	0.22	0.23	0.10	0.30	0.081	0.15	0.081	0.30	
	港陽	0.19	0.14	0.11	0.16	0.13	0.16	0.099	0.23	0.21	0.11	0.29	0.084	0.16	0.084	0.29	
	野跡小学校	0.14	0.14	0.11	0.16	0.13	0.13	0.097	0.23	0.23	0.11	0.31	0.087	0.16	0.087	0.31	
	白水小学校	0.13	0.13	0.12	0.17	0.13	0.11	0.094	0.16	0.16	0.12	0.29	0.090	0.14	0.090	0.29	
	本地通	0.13	0.13	0.14	0.16	0.12	0.12	0.090	0.22	0.19	0.12	0.28	0.086	0.15	0.086	0.28	
	元塩公園	0.17	0.14	0.11	0.17	0.13	0.18	0.093	0.23	0.20	0.11	0.27	0.087	0.16	0.087	0.27	

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	指針値
1,3-ブタジエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.093	0.033	0.059	0.090	0.054	0.039	0.055	0.039	0.10	0.026	0.055	0.054	0.058	0.026	0.10	2.5 以下
	富田支所	0.053	0.018	0.023	0.067	0.016	0.017	0.049	0.034	0.15	0.014	0.042	0.039	0.044	0.014	0.15	
	港陽	0.044	0.037	0.029	0.12	0.024	0.030	0.036	0.040	0.077	0.023	0.036	0.047	0.045	0.023	0.12	
	野跡小学校	0.031	0.050	0.045	0.10	0.026	0.024	0.045	0.037	0.078	0.062	0.10	0.058	0.055	0.024	0.10	
	白水小学校	0.033	0.028	0.025	0.16	0.032	0.028	0.036	0.038	0.076	0.027	0.050	0.047	0.048	0.025	0.16	
	本地通	0.068	0.037	0.082	0.13	0.047	0.049	0.052	0.055	0.14	0.039	0.064	0.076	0.070	0.037	0.14	
	元塩公園	0.037	0.043	0.050	0.10	0.032	0.036	0.053	0.073	0.12	0.038	0.065	0.067	0.060	0.032	0.12	
ヒ素及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	1.3	0.40	0.62	0.92	2.1	1.8	0.43	3.0	1.9	0.61	1.5	0.28	1.2	0.28	3.0	6 以下
	富田支所	0.72	0.35	0.66	0.54	1.5	1.7	0.37	2.9	1.6	0.78	1.5	0.26	1.1	0.26	2.9	
	港陽	0.74	0.45	0.63	0.91	1.5	1.7	0.80	3.2	1.6	1.1	1.5	0.44	1.2	0.44	3.2	
	白水小学校	0.85	0.35	0.67	0.81	1.4	1.8	0.52	3.1	1.9	1.0	1.7	0.44	1.2	0.35	3.1	
	本地通	0.70	0.34	0.55	0.90	1.4	1.7	0.40	2.7	1.9	1.0	1.3	0.33	1.1	0.33	2.7	
	元塩公園	0.82	0.58	0.55	1.0	1.6	1.9	0.41	3.4	1.7	1.3	1.3	0.35	1.2	0.35	3.4	
マンガン及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	18	3.6	11	25	21	26	11	14	18	5.3	26	11	16	3.6	26	140 以下
	富田支所	29	9.6	7.5	17	26	27	8.3	19	17	9.8	27	9.3	17	7.5	29	
	港陽	49	32	11	36	38	39	24	65	23	19	40	20	33	11	65	
	白水小学校	17	22	18	41	45	52	24	110	36	36	74	21	41	17	110	
	本地通	22	10	26	41	44	57	21	75	33	20	47	11	34	10	75	
	元塩公園	18	23	14	38	44	51	19	87	26	25	34	22	33	14	87	
塩化メチル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.8	1.6	1.7	1.2	1.2	1.1	1.7	1.3	2.2	0.99	1.3	1.2	1.4	0.99	2.2	94 以下
	富田支所	1.7	1.6	1.7	1.3	1.4	1.1	1.6	1.3	2.5	0.98	1.3	1.2	1.5	0.98	2.5	
	港陽	1.7	1.7	1.9	1.3	1.4	1.4	1.5	1.4	2.4	0.97	1.3	1.2	1.5	0.97	2.4	
	野跡小学校	1.7	1.6	1.8	1.2	1.5	1.2	1.5	1.1	2.5	0.99	1.3	1.2	1.5	0.99	2.5	
	白水小学校	1.6	1.4	1.6	1.4	1.3	1.1	1.2	1.3	1.6	1.1	1.4	1.2	1.4	1.1	1.6	
	本地通	1.7	1.6	2.2	1.3	1.4	1.1	1.5	1.2	2.1	1.0	1.3	1.2	1.5	1.0	2.2	
	元塩公園	1.7	1.7	1.9	1.3	1.4	1.1	1.3	1.4	2.2	1.0	1.3	1.2	1.5	1.0	2.2	
アセトアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.1	1.9	2.5	2.7	2.8	2.0	—	0.72	1.1	0.81	0.86	0.83	1.6	0.72	2.8	120 以下
	富田支所	2.0	2.1	3.1	3.7	2.2	2.7	2.4	2.3	1.9	0.78	1.6	1.5	2.2	0.78	3.7	
	港陽	2.1	1.6	2.8	4.2	3.3	3.3	0.79	0.92	1.9	2.0	2.5	2.3	2.3	0.79	4.2	
	白水小学校	1.1	1.3	2.5	4.4	2.8	3.4	1.5	2.3	1.9	0.71	1.6	1.5	2.1	0.71	4.4	
	本地通	1.4	1.1	—	2.7	2.4	2.6	1.1	1.2	1.2	1.7	3.0	3.1	2.0	1.1	3.1	
	元塩公園	3.7	1.8	5.1	3.8	3.3	3.7	1.1	1.9	3.7	1.6	2.7	2.2	2.9	1.1	5.1	

注1 「く」は検出下限値未満を表す。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注3 「—」はデータが欠測であることを示す。

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	指針値
アクリロニトリル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.069	0.048									2 以下
	会所町			0.031	0.050	0.053	0.025	0.059	0.041	0.045	0.039	
	富田支所	0.10	0.049	0.059	0.033	0.032	0.018	0.033	0.023	0.039	0.030	
	港陽	0.087	0.036	0.054	0.065	0.036	0.034	0.047	0.038	0.052	0.050	
	野跡小学校			0.077	0.047	0.058	0.040	0.057	0.034	0.051	0.037	
	白水小学校	0.24	0.19	0.12	0.11	0.063	0.048	0.066	0.056	0.089	0.069	
	本地通	0.13	0.061	0.049	0.059	0.032	0.024	0.035	0.029	0.040	0.036	
	元塩公園			0.14	0.13	0.057	0.050	0.063	0.048	0.069	0.072	
塩化ビニル モノマー ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.012	0.043									10 以下
	会所町			0.016	0.0057	0.014	0.006	0.008	0.0079	0.038	0.015	
	富田支所	0.019	0.037	0.021	0.013	0.020	0.012	0.016	0.012	0.026	0.016	
	港陽	0.014	0.045	0.020	0.0086	0.024	0.009	0.017	0.012	0.15	0.012	
	野跡小学校			0.026	0.013	0.023	0.010	0.016	0.021	0.039	0.011	
	白水小学校	0.018	0.052	0.021	0.0086	0.021	0.010	0.024	0.014	0.10	0.013	
	本地通	0.014	0.050	0.021	0.0070	0.021	0.009	0.016	0.012	0.10	0.010	
	元塩公園			0.025	0.0063	0.022	0.011	0.018	0.015	0.034	0.012	
水銀及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	1.5	1.4									40 以下
	会所町			1.4	1.9	1.7	1.8	1.3	1.2	1.2	1.2	
	富田支所	1.5	1.6	1.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.5	1.5	1.7	
	港陽	2.4	2.4	1.8	2.7	2.8	2.4	2.2	1.8	1.7	2.0	
	白水小学校	2.7	2.6	2.1	2.4	2.5	2.4	2.0	2.1	2.3	2.0	
	本地通	1.9	1.5	1.4	2.2	2.1	2.0	1.7	1.7	1.6	1.5	
	元塩公園			1.4	2.2	2.2	2.0	1.8	1.7	1.6	1.6	
	ニッケル化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	3.5	2.0								
会所町				2.1	2.6	2.2	2.0	2.2	1.5	2.3	1.8	
富田支所		4.2	3.2	3.0	4.1	2.7	2.7	3.6	2.5	2.3	2.0	
港陽		6.6	4.4	5.9	6.7	6.0	5.6	5.4	3.4	4.3	3.6	
白水小学校		11	9.2	5.9	22	14	12	9.1	9.6	7.1	12	
本地通		7.3	6.5	5.9	10	5.6	7.8	7.8	7.0	5.2	5.5	
元塩公園				9.6	12	9.0	12	8.4	5.9	7.0	5.5	
クロロホルム ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		上下水道局北営業所	0.39	0.78								
	会所町			0.28	0.22	0.21	0.26	0.28	0.15	0.17	0.14	
	富田支所	0.31	0.47	0.30	0.20	0.21	0.29	0.29	0.16	0.19	0.16	
	港陽	0.37	0.45	0.36	0.27	0.26	0.30	0.35	0.17	0.19	0.19	
	野跡小学校			0.38	0.27	0.23	0.32	0.38	0.18	0.20	0.20	
	白水小学校	1.1	1.1	0.50	0.73	0.71	0.38	0.39	0.20	0.28	0.34	
	本地通	0.49	0.67	0.47	0.37	0.22	0.29	0.37	0.18	0.19	0.18	
	元塩公園			0.49	0.32	0.45	0.34	0.33	0.19	0.23	0.26	
1,2-ジクロロ エタン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.12	0.19									1.6 以下
	会所町			0.14	0.15	0.18	0.16	0.17	0.12	0.12	0.14	
	富田支所	0.34	0.36	0.27	0.15	0.17	0.18	0.17	0.13	0.13	0.15	
	港陽	0.13	0.17	0.15	0.15	0.16	0.17	0.17	0.12	0.13	0.16	
	野跡小学校			0.19	0.16	0.17	0.19	0.18	0.13	0.13	0.16	
	白水小学校	0.14	0.15	0.15	0.15	0.17	0.17	0.18	0.12	0.12	0.14	
	本地通	0.13	0.16	0.15	0.15	0.16	0.17	0.17	0.12	0.12	0.15	
	元塩公園			0.16	0.15	0.16	0.18	0.16	0.12	0.13	0.16	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

調査物質	調査地点	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	指針値
1,3-ブタジエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.12	0.11									2.5 以下
	会所町			0.091	0.078	0.061	0.060	0.081	0.078	0.060	0.058	
	富田支所	0.13	0.12	0.072	0.078	0.046	0.046	0.053	0.056	0.043	0.044	
	港陽	0.12	0.092	0.067	0.10	0.043	0.046	0.052	0.057	0.050	0.045	
	野跡小学校			0.10	0.14	0.066	0.056	0.067	0.069	0.060	0.055	
	白水小学校	0.13	0.12	0.090	0.10	0.059	0.051	0.063	0.059	0.053	0.048	
	本地通	0.18	0.15	0.11	0.17	0.075	0.065	0.077	0.085	0.069	0.070	
	元塩公園			0.093	0.11	0.062	0.062	0.062	0.075	0.053	0.060	
ヒ素及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.96	1.2									6 以下
	会所町			1.0	0.95	1.0	1.9	1.7	1.1	1.0	1.2	
	富田支所	1.1	1.3	0.98	1.0	0.89	2.0	1.7	1.0	1.2	1.1	
	港陽	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	1.8	2.0	1.2	1.2	1.2	
	白水小学校	1.1	1.2	0.74	1.3	1.0	1.7	1.8	1.3	1.1	1.2	
	本地通	1.1	1.3	1.1	1.3	0.97	1.6	1.7	1.2	1.0	1.1	
	元塩公園			1.1	1.2	1.1	1.6	1.9	1.3	1.1	1.2	
	マンガン及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	17	13								
会所町				18	24	18	15	25	17	24	16	
富田支所		24	18	23	30	21	18	31	19	28	17	
港陽		39	29	36	54	36	31	43	30	41	33	
白水小学校		52	47	51	58	46	40	70	51	47	41	
本地通		40	31	37	56	34	30	45	33	40	34	
元塩公園				40	41	38	34	46	33	41	33	
塩化メチル ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )		上下水道局北営業所	1.4	1.8								
	会所町			1.2	1.2	1.4	1.4	1.3	1.4	1.6	1.4	
	富田支所	1.4	1.9	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	1.6	1.5	
	港陽	1.3	1.7	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3	1.4	1.5	1.5	
	野跡小学校			1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	1.6	1.5	
	白水小学校	1.2	1.4	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.3	1.4	1.4	
	本地通	1.2	1.6	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.5	
	元塩公園			1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.5	
アセトアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	2.5	2.4									120 以下
	会所町			1.7	2.0	1.9	1.3	1.6	1.4	1.6	1.6	
	富田支所	2.4	1.8	2.0	2.7	2.0	1.9	2.6	2.4	2.7	2.2	
	港陽	2.5	1.6	2.3	2.3	2.0	1.9	2.6	2.4	2.8	2.3	
	白水小学校	2.8	2.3	2.2	2.5	2.3	1.7	2.2	2.0	2.4	2.1	
	本地通	2.0	1.6	1.7	2.0	1.8	1.4	1.7	1.9	1.7	2.0	
	元塩公園			3.0	3.2	2.2	2.3	2.7	2.5	2.7	2.9	

注1 塩化メチル、アセトアルデヒドの指針値が設定されたのは令和2年度であり、それ以前の測定値は参考値である。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注3 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注4 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

## (3) 環境基準・指針値が定められていない物質

## ① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値
ホルムアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	1.6	2.3	3.5	4.3	4.1	3.1	—	1.4	1.4	0.97	0.83	0.82	2.2	0.82	4.3
	富田支所	3.6	3.3	6.8	9.2	4.9	5.2	5.1	4.0	2.0	1.1	1.7	1.3	4.0	1.1	9.2
	港陽	3.2	2.5	5.0	6.0	4.2	4.9	1.9	1.7	1.7	1.8	2.6	2.8	3.2	1.7	6.0
	白水小学校	2.1	2.0	4.7	7.0	4.6	5.4	3.1	3.2	2.0	1.1	1.9	1.8	3.2	1.1	7.0
	本地通	2.7	1.1	—	4.7	4.7	4.6	2.7	1.9	1.5	2.0	4.3	5.3	3.2	1.1	5.3
	元塩公園	9.5	3.4	9.8	5.5	5.2	5.2	2.1	3.1	6.9	1.5	2.3	3.1	4.8	1.5	9.8
酸化エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	0.11	0.037	0.076	0.063	0.082	0.10	0.083	0.027	0.043	0.009	0.034	0.036	0.058	0.009	0.11
	富田支所	0.10	0.036	0.050	0.086	0.055	0.099	0.097	0.031	0.041	0.014	0.039	0.059	0.059	0.014	0.10
	港陽	0.20	0.044	0.056	0.076	0.069	0.092	0.096	0.020	0.040	0.014	0.018	0.050	0.065	0.014	0.20
	白水小学校	0.22	0.045	0.059	0.088	0.058	0.10	0.096	0.13	0.028	0.054	0.059	0.20	0.095	0.028	0.22
	本地通	0.25	0.044	0.066	0.065	0.068	0.10	0.15	0.069	0.030	0.019	0.046	0.050	0.080	0.019	0.25
	元塩公園	0.44	0.067	0.050	0.077	0.072	0.10	0.084	0.026	0.029	0.13	0.054	0.085	0.10	0.026	0.44
ベンゾ[a]ピレン ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	0.027	0.018	0.028	0.063	0.090	0.057	0.020	0.055	0.11	0.031	0.079	0.038	0.051	0.018	0.11
	富田支所	0.26	0.34	0.021	0.039	0.15	0.22	0.017	0.047	0.070	0.038	0.066	0.034	0.11	0.017	0.34
	港陽	0.056	0.043	0.015	0.12	0.10	0.12	0.016	0.37	0.096	0.081	0.11	0.039	0.097	0.015	0.37
	白水小学校	0.056	0.019	0.022	0.11	0.11	0.31	0.016	0.63	0.092	0.059	0.12	0.035	0.13	0.016	0.63
	本地通	0.057	0.011	0.019	0.13	0.15	0.28	0.011	0.38	0.084	0.045	0.080	0.044	0.11	0.011	0.38
	元塩公園	0.059	0.027	0.018	0.12	0.11	0.27	0.014	0.48	0.078	0.090	0.087	0.042	0.12	0.014	0.48
クロム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	3.3	0.67	2.4	12	4.0	5.0	2.7	4.1	5.5	4.6	5.5	2.2	4.3	0.67	12
	富田支所	8.2	2.3	1.3	3.1	3.8	6.6	2.4	3.0	2.7	1.0	5.6	1.8	3.5	1.0	8.2
	港陽	18	5.6	2.6	10	6.6	8.4	3.6	17	5.4	4.0	6.9	4.2	7.7	2.6	18
	白水小学校	5.0	5.1	32	13	11	13	6.6	29	37	7.3	25	12	16	5.0	37
	本地通	5.1	1.7	4.1	12	11	16	4.5	24	14	8.1	10	3.2	9.5	1.7	24
	元塩公園	4.6	5.5	3.8	15	13	22	5.0	28	7.7	12	6.9	4.0	11	3.8	28
バリウム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	会所町	0.024	<0.006	<0.006	<0.006	0.013	0.010	0.012	0.020	0.016	<0.006	0.027	<0.006	0.011	<0.006	0.027
	富田支所	0.018	<0.006	<0.006	<0.006	0.008	0.006	0.008	0.009	0.020	0.006	0.020	<0.006	0.009	<0.006	0.020
	港陽	0.012	0.006	<0.006	<0.006	0.014	0.010	0.033	0.032	0.013	0.009	0.043	0.008	0.016	<0.006	0.043
	白水小学校	0.007	<0.006	0.008	0.009	0.017	0.020	0.052	0.042	0.017	0.019	0.056	<0.006	0.021	<0.006	0.056
	本地通	0.010	<0.006	<0.006	<0.006	0.015	0.016	0.007	0.039	0.022	<0.006	0.031	<0.006	0.013	<0.006	0.039
	元塩公園	0.010	0.009	<0.006	<0.006	0.020	0.011	0.015	0.032	0.015	0.008	0.028	<0.006	0.013	<0.006	0.032
トルエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	会所町	5.8	1.7	6.5	17	3.4	5.5	6.8	5.6	14	2.9	7.4	8.7	7.1	1.7	17
	富田支所	4.1	1.3	3.8	12	2.5	6.1	4.2	4.4	6.4	1.8	6.5	7.7	5.1	1.3	12
	港陽	9.8	3.0	4.4	11	2.7	5.3	5.4	5.7	4.3	2.2	5.1	7.7	5.6	2.2	11
	野跡小学校	3.8	1.2	4.1	10	1.9	5.1	4.5	4.0	4.9	1.7	5.7	7.4	4.5	1.2	10
	白水小学校	5.0	2.0	5.7	11	3.5	6.0	6.0	5.2	5.8	2.7	7.3	6.6	5.6	2.0	11
	本地通	7.1	3.0	6.7	14	5.9	8.4	6.0	8.7	7.2	3.8	7.2	6.6	7.0	3.0	14
	元塩公園	7.5	3.0	5.2	16	5.1	7.5	5.6	8.2	7.9	4.1	6.6	7.0	7.0	3.0	16

注1 「&lt;」は検出下限値未満を表す。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注3 「—」はデータが欠測であることを示す。

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ホルムアルデヒド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	3.5	3.7								
	会所町			3.5	3.8	2.8	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2
	富田支所	4.5	3.2	3.2	4.5	3.6	3.4	3.8	3.9	4.0	4.0
	港陽	3.5	2.4	3.0	3.1	3.1	2.9	3.3	2.8	3.1	3.2
	白水小学校	4.4	4.1	3.6	4.1	3.7	2.9	3.1	2.9	3.3	3.2
	本地通	3.5	2.6	2.8	3.0	3.3	2.4	2.5	2.7	2.4	3.2
	元塩公園			7.4	8.2	4.0	5.2	5.7	5.0	4.0	4.8
酸化エチレン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.069	0.057								
	会所町			0.058	0.042	0.050	0.061	0.054	0.049	0.041	0.058
	富田支所	0.057	0.061	0.054	0.15	0.047	0.060	0.058	0.046	0.043	0.059
	港陽	0.057	0.058	0.054	0.072	0.049	0.079	0.070	0.044	0.047	0.065
	白水小学校	0.073	0.067	0.081	0.061	0.064	0.081	0.083	0.059	0.055	0.095
	本地通	0.063	0.060	0.060	0.048	0.061	0.082	0.059	0.052	0.051	0.080
	元塩公園			0.061	0.094	0.060	0.10	0.078	0.060	0.050	0.10
ベンゾ[a]ピレン ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.10	0.081								
	会所町			0.066	0.10	0.076	0.089	0.11	0.086	0.075	0.051
	富田支所	0.15	0.12	0.089	0.13	0.13	0.17	0.15	0.096	0.089	0.11
	港陽	0.17	0.16	0.076	0.11	0.080	0.12	0.13	0.12	0.13	0.097
	白水小学校	0.13	0.086	0.054	0.11	0.092	0.12	0.12	0.13	0.12	0.13
	本地通	0.17	0.12	0.083	0.20	0.098	0.12	0.15	0.11	0.092	0.11
	元塩公園			0.093	0.14	0.099	0.13	0.11	0.14	0.10	0.12
クロム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	6.5	4.7								
	会所町			4.7	5.4	5.2	4.5	6.8	5.0	5.8	4.3
	富田支所	8.5	3.6	5.2	7.4	4.8	5.5	9.3	5.1	5.3	3.5
	港陽	13	7.6	11	14	12	10	14	9.3	11	7.7
	白水小学校	24	20	14	38	20	15	24	22	19	16
	本地通	15	12	13	29	12	11	13	11	11	9.5
	元塩公園			17	19	15	17	14	16	14	11
バリウム及び その化合物 ( $\text{ng}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	0.012	0.011								
	会所町			0.012	0.012	0.014	0.016	0.022	0.017	0.021	0.011
	富田支所	0.014	0.012	0.018	0.017	0.015	0.015	0.022	0.014	0.027	0.009
	港陽	0.020	0.019	0.020	0.037	0.020	0.021	0.029	0.019	0.028	0.016
	白水小学校	0.030	0.025	0.035	0.028	0.022	0.027	0.031	0.025	0.027	0.021
	本地通	0.019	0.017	0.014	0.019	0.014	0.018	0.023	0.018	0.023	0.013
	元塩公園			0.020	0.021	0.022	0.022	0.027	0.016	0.026	0.013
トルエン ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	上下水道局北営業所	8.4	10								
	会所町			12	14	9.5	6.1	8.5	8.2	6.5	7.1
	富田支所	8.1	7.0	8.4	10	7.6	4.2	6.6	5.8	4.5	5.1
	港陽	8.2	7.4	8.8	11	6.9	4.8	7.2	5.9	5.3	5.6
	野跡小学校			7.5	10	6.1	3.5	5.6	5.5	4.1	4.5
	白水小学校	10	11	11	12	9.4	4.7	7.7	7.4	6.1	5.6
	本地通	11	10	12	18	8.5	6.1	7.5	7.9	7.0	7.0
元塩公園			10	11	7.9	5.7	7.9	7.4	6.2	7.0	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

### 3 環境基準・環境目標値

#### (1) 大気汚染に係る環境基準・環境目標値

##### ア 環境基準

昭和48年環境庁告示第25号  
 昭和48年環境庁告示第35号  
 昭和53年環境庁告示第38号  
 昭和56年環境庁告示第47号  
 平成 8年環境庁告示第73号  
 平成 8年環境庁告示第74号  
 平成21年環境省告示第33号

物質 項目	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )
環 境 基 準	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
評 価 方 法	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の低い方から98%目に当たる値(98%値)で評価する。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または8時間平均値を環境基準と比較して評価を行う。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。	(短期的評価) 5時から20時の昼間時間帯において、年間を通じて1時間値が0.06ppm以下に維持されること。	(長期的評価) 1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であること(長期基準)かつ、1日平均値のうち年間98パーセントイル値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること(短期基準)で評価する。
参 考	1日平均値の評価にあたっては、有効測定日数(1日20時間以上測定)のみを評価する。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については、年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。					

イ 環境目標値

平成17年名古屋市告示第402号  
 平成29年名古屋市告示第804号  
 令和 2年名古屋市告示第 57号

物質 項目	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	光化学オキシダント (Ox)	微小粒子状物質 (PM2.5)
市民の健康 の保護に係 る目標値	/	1時間値の1日平均値が 0.04ppm以下であること。	/	1時間値の1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、か つ、1時間値0.20mg/m <sup>3</sup> 以 下であること。	1時間値が0.06ppm以下 であること。	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以 下であり、かつ、1日平 均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であ ること。
評価方法		環境基準と同一とする。		環境基準と同一とする。	環境基準と同一とする。	環境基準と同一とする。
快適な生活 環境の確保 に係る目 標値	/	/	/	1年平均値が0.015mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	/	/
評価方法				1年平均値を環境目標値 と比較し、その他につい ては、環境基準を準用す る。		
備 考	・光化学オキシダントについては、令和12年度までに「昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数が300時間以下であること」を当面の目標として設定する。					
参 考	1日平均値の評価にあたっては、有効測定日数(1日20時間以上測定)のみを評価する。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については、年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。					

(2) 有害大気汚染物質等に係る環境基準・指針値

ア 環境基準が定められている物質

平成 9年環境庁 告示第 4号  
 平成13年環境省 告示第 30号  
 平成30年環境省 告示第100号

物質	環境基準
ベンゼン	年平均値が 0.003mg/m <sup>3</sup> (3 μg/m <sup>3</sup> ) 以下であること。
トリクロロエチレン	年平均値が 0.13mg/m <sup>3</sup> (130 μg/m <sup>3</sup> ) 以下であること。
テトラクロロエチレン	年平均値が 0.2mg/m <sup>3</sup> (200 μg/m <sup>3</sup> ) 以下であること。
ジクロロメタン	年平均値が 0.15mg/m <sup>3</sup> (150 μg/m <sup>3</sup> ) 以下であること。

イ 指針値が定められている物質

平成15年環境省通知 環管総発第030930004号  
 平成18年環境省通知 環水大総発第061220001号  
 平成22年環境省通知 環水大総発第101015002号  
 平成26年環境省通知 環水大総発第 1405011号  
 令和 2年環境省通知 環水大総発第 2008201号

物質	指針値
アクリロニトリル	年平均値が2μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
塩化ビニルモノマー	年平均値が10μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
水銀及びその化合物	年平均値が0.04μgHg/m <sup>3</sup> (40ngHg/m <sup>3</sup> ) 以下であること。
ニッケル化合物	年平均値が0.025μgNi/m <sup>3</sup> (25ngNi/m <sup>3</sup> ) 以下であること。
クロロホルム	年平均値が18μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	年平均値が1.6μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
1,3-ブタジエン	年平均値が2.5μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
ヒ素及びその化合物	年平均値が6ng/m <sup>3</sup> 以下であること。
マンガン及び 無機マンガン化合物	年平均値が0.14μgMn/m <sup>3</sup> 以下であること。
塩化メチル	年平均値が94μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
アセトアルデヒド	年平均値が120μg/m <sup>3</sup> 以下であること。

## 4 用語解説

### 一般環境大気測定局

一般に人が居住する場所などの大気汚染の状況を常時監視するための測定局であって、自動車排出ガス測定局以外のものをいいます。略して「一般局」といいます。

### 自動車排出ガス測定局

自動車排出ガスによる大気汚染の考えられる道路付近において大気汚染の状況を常時監視するための測定局をいいます。略して「自排局」といいます。

### 環境基準

人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、環境基本法第16条第1項により定められた基準。大気汚染物質については、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質の6物質、また有害大気汚染物質についてはベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質について環境基準が定められています。

### 環境目標値

大気の大気汚染、水質の汚濁等に係る環境上の条件について、それぞれ、市民の健康を保護し、及び快適な生活環境を確保する上で維持されるべき目標値として、名古屋市環境基本条例第5条の2により定められた目標で、平成17年7月29日に告示され、平成29年12月21日及び令和2年2月3日に一部改正しました。大気汚染物質については、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質（4物質）について「市民の健康保護に係る環境目標値」が定められており、浮遊粒子状物質（1物質）について「快適な生活環境の確保に係る目標値」が定められています。

ピーピーエム

**ppm**

Parts per million の略。100万分のいくつであることを示す分率で、ごく微量の物質の濃度や含有率を表すのに使われます。

大気汚染では1m<sup>3</sup>の大気中に1cm<sup>3</sup>の汚染物質が含まれている状態を1ppmで表します。

ピーピーエムシー

**ppmC**

炭素原子数を基準として表したppm値です。

マイクログラム ナノグラム

**μg・ng**

1μgは100万分の1g、1ngは10億分の1gです。

### 2%除外値

二酸化硫黄、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質の環境基準の長期的評価は、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値で評価することとなっていて、これを2%除外値といいます。たとえば、年間の有効測定日数（1日につき20時間以上の測定値がある日数）が350日の場合には、高い方から350×0.02＝7日分を除いた8番目の日平均値です。（小数点以下は四捨五入します。）

### 98%値

二酸化窒素の環境基準は、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%目に相当する値で評価することとなっていて、これを98%値といいます。たとえば、年間の有効測定日数（1日につき20時間以上の測定値がある日数）が350日の場合には、低い

方から $350 \times 0.98 = 343$ 番目（高い方から8番目）の日平均値です。（小数点以下は四捨五入します。）なお、微小粒子状物質は98パーセントイル値で評価することとなっていますが、98%値と同様に算出された値で評価しています。

## 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

主に重油など硫黄分を含む燃料が燃焼するときに発生するものです。また火山の噴煙にも含まれます。

無色の刺激性の気体で、水に溶けやすく、高濃度のときは目の粘膜に刺激を与えるとともに呼吸機能に影響を及ぼすといわれています。また、金属を腐食させたり植物を枯らしたりするといわれています。

## 窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

燃焼時の高温下で空気中の窒素と酸素が化合することによるほか、窒素分を含む有機物が燃焼するときにも発生する一酸化窒素や二酸化窒素などのことです。発生源は、工場、自動車、家庭等多岐にわたります。

赤褐色の刺激臭の気体であり、高濃度のときは、目、鼻等を刺激するとともに健康に影響を及ぼすといわれています。

## 一酸化炭素（CO）

無味、無臭、無色、無刺激の気体で、有機物が不完全燃焼したときに発生するものです。発生源は、自動車によるものが多く、その他石油ストーブ、ガスコンロ、タバコ等からも発生します。

人体への影響は、呼吸器から体内に入り、血液中のヘモグロビンの酸素運搬機能を阻害するため、高濃度のときは、酸素欠乏症の諸症状である頭痛、めまい、意識障害を起こすといわれています。

## 浮遊粒子状物質（SPM）

大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が10マイクロメートル（1マイクロメートルは、1000分の1ミリメートル）以下の物質です。発生源は、工場・事業場、自動車、家庭等人為由来のもの他、土壌の舞い上がりや海水の飛沫が乾燥してできた海塩粒子等自然由来のもの、燃焼等に伴い排出された硫黄酸化物や窒素酸化物、炭化水素などから大気中で発生する二次粒子や煙突から排出されたガスが大気中で冷やされてできる凝縮性ダストなどがあります。

この粒子は、沈降速度が小さいため、大気中に比較的長時間滞留し、高濃度のときは呼吸器等に影響を与えるといわれています。

## 光化学オキシダント（O<sub>x</sub>）

大気中のオゾン、パーオキシアセチルナイトレート（PAN）等の酸化力の強い物質の総称です。大気中の窒素酸化物、炭化水素等が強い日射を受け、光化学反応を起こして生じるものですが、その生成は、反応物質の濃度レベルのみならず、気象条件に大きく依存しています。

高濃度のときは眼を刺激し、呼吸器、その他の臓器に影響を及ぼす一方、不快、臭気、視覚障害などの生活環境や植物にも影響を及ぼすといわれています。

## 炭化水素

炭素と水素の化合物の総称で、本市の常時監視では、メタン及び非メタン炭化水素を測定しています。非メタン炭化水素は、光化学オキシダントの原因物質の一つで、主な発生源は、工場・事業場、自動車などです。

## 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）

大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が2.5マイクロメートル（1マイクロメートルは、1000分の1ミリメートル）以下の微小粒子です。粒径が非常に小さいため、気管支をすり抜けて肺の奥深くまで達し、呼吸器系疾患に加えて肺がんや循環器系疾患などを引き起こすと懸念されています。発生源は、工場・事業場からのばいじん、自動車からのディーゼル排ガス微粒子などの一次粒子と、燃焼等に伴い排出された硫黄酸化物や窒素酸化物、炭化水素などのガス状物質が大気中で光化学反応により粒子化した二次粒子などがあります。

## ベンゼン

合成ゴム、合成洗剤、有機顔料等多様な製品の合成原料として使用されています。また、ベンゼンはガソリンにも含まれています。

特有の芳香性を持つ無色の液体で、水には溶けにくいですが有機溶媒にはよく溶ける性質があり、揮発性及び引火性が非常に高い物質です。

高濃度のベンゼンを多量に吸引すると、めまい、嘔吐、頭痛、ねむけ、痙攣、息切れ、意識喪失など主に中枢神経に影響を受けます。また、発ガン性が指摘されています。

## トリクロロエチレン

不燃性で脱脂能力が優れているため、金属部品の洗浄に使用されているほか、接着剤や塗料の溶剤としても使用されています。

クロホルムのような臭いがする揮発性が高い無色透明の液体で、目、鼻、のどを刺激します。短時間で多量の蒸気を吸引すると、頭痛、めまい、吐き気、意識喪失を起こします。また、発ガン性があるといわれています。

## テトラクロロエチレン

不燃性で洗浄能力が優れているため、ドライクリーニングに使われるほか、金属製品の洗浄剤や溶剤、化学製品の原料などに使用されています。

エーテルのような臭いがする揮発性・不燃性の無色透明の液体で、高濃度の場合は目、鼻、のどを刺激します。蒸気を吸引すると麻酔作用があり、頭痛、めまい、意識喪失を起こします。また、発ガン性があるといわれています。

## ジクロロメタン

塩化メチレンとも呼ばれ、安定な化合物のため、塗料の剥離剤や洗浄及び脱脂溶剤として広く利用されています。

揮発性・不燃性の無色の液体で、高濃度の蒸気を吸収する場合、目、鼻、のどを刺激します。麻酔作用があり、頭痛、めまい、吐き気を起こします。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 指針値

「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値」として定義されており、環境基本法第16条第1項に基づき定められている行政目標としての環境基準とは性格及び位置づけが異なります。

アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化メチル、アセトアルデヒドの11物質について指針値が設定されています。

## アクリロニトリル

アクリル系合成繊維、合成ゴム、ABS樹脂及び塗料に利用されています。

可燃性の無色の液体で、粘膜への刺激作用があり、大量に暴露すると中枢神経麻痺になります。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 塩化ビニルモノマー

クロロエチレンとも呼ばれ、食品包装材、ビニルシート、建材等に広く使用されるポリ塩化ビニルの合成原料となるものです。

無色の気体もしくは液体でエーテルのような臭気がし、高濃度で暴露すると麻酔作用があります。また、発ガン性が指摘されています。

## 水銀及びその化合物

蛍光灯、温度計、アマルガム等に使用されています。

常温で液体である唯一の金属で、高濃度で蒸気を吸入すると腎臓への影響があり、低濃度の場合においても神経系、免疫系への影響があるといわれています。また、化学形態により毒性に違いがあり、メチル水銀化合物は発ガン性があるかもしれないといわれています。

## ニッケル化合物

金属、合金元素の他に多くの化学形態があり、貨幣、ステンレス鋼や耐熱・耐蝕合金、メッキ、触媒等に使用されています。

職業的に高濃度で暴露すると呼吸器への影響があるといわれています。また、化学形態により毒性に違いがあり、発ガン性が指摘されています。

## クロロホルム

主に化学品の製造原料として使用され、フッ素系冷媒やフッ素樹脂の原料等に使用されています。

揮発性を有する無色透明の液体で、蒸気には甘みがあり、常温で日光に長時間さらされたり、暗所でも空気が存在すると徐々に分解し、有毒なホスゲンを生じます。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 1,2-ジクロロエタン

主に塩化ビニルモノマーやエチレンジアミン等の合成原料の他、フィルム洗浄剤、有機溶剤、殺虫剤等に使用されています。

クロロホルム様の臭気があり、常温常圧下では無色油状の液体で揮発性が高く、引火性があり、煙の多い炎を伴って燃焼します。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

## 1,3-ブタジエン

合成ゴム（SBR等）の原料、樹脂（ABS樹脂等）の原料、合成ゴムラテックスの原料などに使用されています。

常温常圧下では弱い芳香を有する無色の気体で、化学反応性に富み、熱又は酸素の存在下で容易に重合します。また、可燃性が強く、空気と接触すると爆発性過酸化物を生成します。また、発ガン性が指摘されています。

## ヒ素及びその化合物

主に農薬、木材防腐に使用されています。化合物は発光ダイオードや半導体の原料などに用いられています。

無味無臭かつ無色の毒物で、吐き気、おう吐、下痢、腹痛などの急性症状や、皮膚炎、骨髄障害、末梢性神経炎、黄疸、腎不全などの慢性症状がみられ、発ガン性も指摘されています。毒物及び劇物取締法により医薬用外毒物に指定されています。

## マンガン及びその化合物

合金の原料、マンガン乾電池の電極、酸化剤等に用いられています。必須微量元素であり、欠乏すると皮膚炎、毛髪の障害、低コレステロール血症などが起きます。その一方で経口又は吸入経路で多量に取り込まれると、記憶障害、歩行障害、言語障害などの症状がみられます。

## 塩化メチル

クロロメタンとも呼ばれ、主に医薬品、農薬の他、有機合成用各種メチル化剤等に使用されています。

可燃性の無色の気体で、吸入により中枢神経系に対する作用がみられ、高濃度暴露では視覚・判断力・記憶力の低下等が生じ、さらに酩酊状態を経て痙攣、運動失調を起こして死亡することもあります。

## アセトアルデヒド

主に酢酸やエチルアルコール等の製造原料の他、魚の防腐剤、防カビ剤等に使用されています。

無色透明の液体で青臭い刺激臭があり、液体及び高濃度の蒸気は、目、鼻、喉の粘膜や皮膚を刺激し腐食を起こす他、麻酔作用及び意識混濁、気管支炎、肺浮腫等を起こします。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。